官報

法律

造幣局特別会計法の一部を改正する法律をここに公布する。

御名御璽

昭和二十二年八月十一日

内閣総理大臣　片山　哲

法律第九十二号

造幣局特別会計法の一部を次のように改正する。

第一條中「作業上ノ收入」を「作業ノ收入（貴金屬ノ配給ニ關スル收入ヲ含ム）」に改め、「作業ノ費用」の下に「（貴金屬ノ配給ニ關スル費用ヲ含ム）」を加える。

第二條ノ二を第二條ノ四とする。

第二條ノ二　本會計ニ於テ貴金屬ノ配給上必要アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借入金ヲ爲シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル一時借入金及融通證券ハ翌年度内ニ之ヲ償還スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル一時借入金及融通證券ノ限度額ニ付テハ豫算ヲ以テ國會ノ議決ヲ經ヘシ

第二條ノ三　本會計ノ負擔ニ屬スル一時借入金又ハ融通證券ノ發行及償還ニ關スル諸費ノ支出ニ必要ナル金額ハ年度内ニ償還スル償還金ヲ除キ每年度之ヲ國債整理基金特別會計ニ繰入ルヘシ

第九條　内閣ハ每年度本會計ノ豫算ヲ作成シ一般會計ノ豫算ト共ニ之ヲ國會ニ提出スヘシ

附　則

この法律施行の期日は、政令でこれを定める。

大藏大臣　栗栖　赳夫

内閣総理大臣　片山　哲

省令

◉大藏省令第七十六号

明治四十三年大藏省令第十四号（税務署ニ於ケル歳入徴收官ノ設備ニ關スル件）の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

大藏大臣　栗栖　赳夫

「明治三十一年大藏省訓令第十一号」を「昭和二十二年大藏省訓令特第一号」に改める。

◉司法省令第六十八号

司法事務局出張所ノ名称及登記管轄区域ニ關スル件の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

司法大臣　鈴木　義男

司法事務局出張所ノ名称及登記管轄区域ニ關スル件別表中、「前橋司法事務局の部」「太田」の欄中「新田」を「太田」に、「北甘樂」を「富岡」にそれぞれ改める。

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉司法省令第七十号

前橋司法事務局及同事務局管内出張所ノ登記事務委任ノ件の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

司法大臣　鈴木　義男

第二條中「前橋司法事務局北甘樂出張所」を「前橋司法事務局富岡出張所」に改める。

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉司法省令第七十一号

神戸司法事務局及同事務局管内出張所ノ登記事務委任ノ件の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

司法大臣　鈴木　義男

第一條に次の一項を加える。

神戸司法事務局平野出張所ノ管轄ニ屬スル登記事務（商業登記ノ事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局明石出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第二十九号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第九條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「通常爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十一号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十二号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十三号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十四号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十五号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十六号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十七号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十八号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第三十九号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十一号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十二号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十三号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十四号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十五号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十六号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十七号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十八号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替ノ差出人郵便爲替金受領証書ノ提出又ハ呈示ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ提出又ハ呈示シ能ハサルトキハ相當保証人ヲ立テ其ノ証明書ヲ差出スヘシ

前項ノ規定ハ郵便爲替ノ受取人郵便振出ノ郵便物受領証ノ呈示ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條第一項第三号中「又ハ航空郵便」及び「又ハ航空料」を削り、第四号を次のように改める。

四　第十二條第一項中「及小爲替金受領証書」の下に「及小爲替金受領証書」を加える。

第十五條第一項中「通常爲替証書」を「通常爲替金受領証書」に改める。

第十七條第一項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第二十條第二項中「正當差出人」を削る。

第二十七條第二項中「正當差出人タルコトヲ証明シタル上」を削り、「請求スルコトヲ得」の下に「此ノ場合ニ於テハ通常爲替金受領証書ヲ呈示スヘシ」を加える。

第三十一條第三項中「記名調印シ」の下に「通常爲替金受領証書ト共ニ」を加える。

第四十三條中「小爲替証書」の下に「及小爲替金受領証書ヲ郵便局ニ屬スル登記事務ヲ除ク）ハ神戸司法事務局平野出張所ヲシテ之ヲ取扱ハシム

附　則

この省令は、昭和二十二年八月十五日から、これを施行する。

◉逓信省令第四十九号

郵便爲替規則等の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日

逓信大臣　三木　武夫

第一條　郵便爲替

第6172号 本文

安全類文査定証紙(例)

18 mm × 12 mm		
中央價格査定委員会		
㊅査定番号		
小賣價格	單位	税込 円

右様式以外の條件については、昭和二十二年四月九日物價廳告示第百四十八号の定むるところによる。

◎物價廳告示第四百七十一号

物價統制令第四條の規定によつて、亜炭コークスの販賣價格の統制額を次のように指定する。

昭和二十二年八月十一日 物價廳長官 和田 博雄

一、亜炭コークスの生産業者販賣價格の統制額 (單位一トン)

地区別	級別	一級	二級	三級
(一)完成コークス				
A	塊	三、三六〇円	二、八一〇円	二、四〇〇円
	粉	二、〇三〇	一、六六〇	一、四四〇
B	塊	三、一六〇	二、八〇〇	二、五六〇
	粉	二、一七〇	一、六〇〇	一、五四〇
C	塊	二、四一〇	二、三〇〇	一、六〇〇
	粉	二、五〇〇	二、〇九〇	一、七五〇
(二)半成コークス				
A	塊	一、三一〇	一、八〇五	一、六四〇
	粉	一、一六〇	一、二一〇	九九〇
B	塊	一、三二〇	一、九七〇	一、〇七五
	粉	一、二五〇	一、一八〇	一、〇五〇
C	塊	一、二五〇	一、三五〇	一、一九〇
	粉	一、三五〇	一、二五〇	一、二九〇

イ、本表の各級の規格は、別表(1)による。

ロ、ABCの地区は、別表(2)による。

ハ、塊はふるい目三分以上とし、粉はふるい目三分未滿とする。

ニ、本表の統制額は、工場置場渡しの額である。

ホ、本表の統制額は、荷造費を含まない。

二、亜炭コークスの販賣業者販賣價格の統制額

一の統制額に左の割合を加算した額に包裝荷造費及び輸送費を加算することが出來る。

卸賣業者 百分の五

小賣業者 卸賣業者の販賣價格の統制額の百分の十

別表(1)

亜炭コークス規格表

級別	完成コークス 灰分	完成コークス 發熱量	半成コークス 灰分	半成コークス 發熱量
一級	二〇%未滿	六、〇〇〇カロリー以上	二〇%未滿	五、〇〇〇カロリー以上
二級	三〇%〃	五、〇〇〇〃	三五%〃	四、〇〇〇〃
三級	三〇%以上	四、〇〇〇〃	三五%以上	三、〇〇〇〃

この規格において、亜炭コークスというのは、亜炭の乾溜生成物であつて、無水無灰物中揮發分二五%以下の物を完成コークスといい、四〇%以下の物を半成コークスという。

別表(2)

A地区 青森縣、岩手縣、宮城縣、秋田縣、山形縣、福島縣、神奈川縣、千葉縣、岐阜縣、山口縣、徳島縣、宮崎縣

B地区 茨城縣、栃木縣、埼玉縣、新潟縣、富山縣、石川縣、愛知縣、岡山縣、島根縣、高知縣、福岡縣、大分縣、熊本縣

C地区 北海道、群馬縣、山梨縣、長野縣、福井縣、三重縣、大阪府、京都府、奈良縣、和歌山縣、滋賀縣、兵庫縣、廣島縣、香川縣

◎大藏省告示第百七十九号

割増金附貯蓄規則第四條の規定によつて、左の貯金の證書を指定する。

昭和二十二年八月十一日 大藏大臣 栗栖 赳夫

一、四國新生割増定期貯金證書

二、福岡縣福農定期貯金證書

三、鹿兒島縣新生定期貯金證書

四、大分縣災害復興定期貯金證書

◎文部省告示第百三十三号

大正十四年文部省令第三十号実業学校卒業程度検定規程により左の通第二十三回実業学校卒業程度検定を施行する。

昭和二十二年八月十一日 文部大臣 森戸 辰男

一、検定施行地及び学科

検定施行地	学科
北海道	機械、建築、電氣、工業化学、採鉱、土木、農業、商業
青森縣	機械、建築、電氣、商業
岩手縣	機械、建築、工業化学、土木、農業、商業
山形縣	機械、工業化学、土木、農業
福島縣	機械、工業化学、農業、商業
栃木縣	機械、建築、電氣、土木、農業、商業
群馬縣	機械、建築、電氣、土木、農業
千葉縣	機械、電氣、工業化学
東京都	機械、建築、電氣、工業化学、冶金、土木、農業、商業
神奈川縣	機械、電氣、工業化学、商業
石川縣	機械、建築、電氣、土木
長野縣	機械、電氣、工業化学、土木
岐阜縣	機械、建築、電氣、土木、農業
靜岡縣	機械、建築、電氣、工業化学、商業
京都府	農業、商業
大阪府	機械、建築、電氣、工業化学、
兵庫縣	土木、商業
島根縣	機械、建築、電氣、工業化学、
岡山縣	土木、農業、商業
山口縣	機械、電氣、農業、商業
香川縣	機械、工業化学、農業、商業
福岡縣	機械、建築、電氣、工業化学、採鉱、冶金、土木、農業
佐賀縣	商業
長崎縣	機械、建築、電氣、工業化学
熊本縣	機械、建築、電氣、工業化学、採鉱、冶金、土木、農業、商業
宮崎縣	機械、建築、電氣、工業化学、農業

二、出願期間及び手續 昭和二十二年九月一日から同十日迄（日曜日を除く。）

出願は右の期間中午前八時から午後四時迄（土曜日は正午迄）の間に受検地の地方廳に願書類を提出すること。

出願に関する書類は実業学校卒業程度検定規程所定の書式により調製し、その提出後は受検地を変更することが出來ない。

三、検定期日 十月九日から同十八日迄

四、右の手續その他に関しては受検地の地方廳若しくは文部省学校教育局高等教育課に問合せのこと。

◎農林省告示第百十七号

森林法により左の保安林を解除する。

昭和二十二年八月十一日 農林大臣 平野 力三

山形縣東田川郡東村大字田麦俣字一枚畑八九（但し八段五畝二一歩の内実測四段二六歩）九一及び畝九三（但し四段六畝二六歩の内実測一段四畝一八歩）、同字岩石二八（但し九段一畝七歩の内実測一段六畝二一歩）及び二九（但し一町三段八畝一九歩の内実測一段三畝二七歩）

◎農林省告示第百十八号

森林法により左の保安林を解除する。

昭和二十二年八月十一日 農林大臣 平野 力三

長野縣上伊那郡美和村大字黒河内字ヲソバ沢二六一九ノ七九四、七九六、七八六、八一九、六六八、六四七、八〇一、六六、六四九、六五〇、七六二、七六一、六九、六六六、七〇四、七六七、七七八、七〇七、七〇〇、七七七、七〇八、八〇八、七六五、八一〇、七〇〇、七九九、六六四、七〇二、七三五、七五二、七四七、七五〇、七九二、七一〇、七三七、七四八、七四二、七四六、七四七、七四八、七五四及び二六一九ノ六六二、同字ナガベサマ二五九四ノ二及び二五九八ノ二、同字ババサキ二七八八ノ二、同伊那里村大字杉島字中擶一九八三ノ四、一九八四ノ三、一九八五ノ三、一九八六ノ四、一九八七ノ四、一九八八、一九八九ノ四及び一九九〇ノ四、同字三ツ石上二〇一七ノ三、同字足平道下一九九一ノ二、同字岩入一六八〇ノ二、同下伊那郡本沢村字ヲチ山七〇四ノ九乃至七〇四ノ一一及び七〇四ノ一四、同上村字藤向九〇〇ノ五

◎農林省告示第百十九号

耕地整理法第三條ノ二但書の規定により、左の地域を指定する。

昭和二十二年八月十一日 農林大臣 平野 力三

埼玉縣川越市

大字川越二二三一、二二七九、二二三〇四、二二三九より二二四七まで、二二三六二より二二三六六まで、二二三六八より二二三七まで、二二三七八、二三八〇より二二三八六まで、二二五八八より二二五九四まで

大字寺井一六〇より一六七まで、二二二より二二二まで、二二八、二二三九、二四〇より二四九まで、二二五五、二二五四、二六〇より二八六まで、二八八、二八九、二九一より二九九まで、三〇一、三〇七

大字東明寺五七、八六より一一九まで

大字松郷一二一〇、一二一五ノ一、一二二六ノ一、一二二七、一二二九、一二二六より一二二七まで、一三二九より一三三三まで

並同地区内の水路、道路の全部

◎農林省告示第百二十号

昭和二十二年一月農林省告示第十三号（米糠配給統制規則第二條の規定による搾油業者指定の件）の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日 農林大臣 平野 力三

「群馬縣高崎市 群馬油脂工業株式会社」の次に「群馬縣前橋市 茂木慶太郎」を、「神奈川縣横浜市 神奈川縣糠油工業株式会社」の次に「神奈川縣川崎市 米山油脂工業株式会社」を、「新潟縣新潟市 松本利作（新潟油脂工業所）」の次に「新潟縣長岡市 松本利作（長岡油脂工業所）」及び「新潟縣中蒲原郡白根町 谷長作」を、「福井縣福井市 福井製油株式会社」の次に「山梨縣甲府市 武田醤油株式会社」を、「長野縣上伊那郡高遠町 上伊那糠油株式会社」の次に「長野縣東筑摩郡中川手村 株式会社明科製油所」を、「静岡縣静岡市 静岡製油株式会社」の次に「静岡縣沼津市 静岡縣食糧營團（沼津搾油工場）」を、「京都府京都市 京都糠油株式会社」の次に「京都府福知山市 株式会社福知山油脂工業所」を、「山口縣防府市 山口縣食糧營團（防府工場）」の次に「山口縣下関市 山口縣食糧營團（下関工場）」を、「山口縣下関市 林末介」の次に「徳島縣徳島市 徳島縣食糧營團（搾油工場）」を、「熊本縣熊本市 熊本搾油工業株式会社」の次に「熊本縣熊本市 肥後製蠟株式会社」を、「宮崎縣宮崎市 宮崎精糧株式会社」の次に「鹿兒島縣鹿兒島市 鹿兒島油脂工業株式会社」を加える。

◎商工省告示第四十三号

昭和二十一年五月商工省告示第六十二号（輸出絹織物検査所、支所及び出張所の名称及び位置に関する件）の一部を次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日 商工大臣 水谷長三郎

「大阪市旭区今市町」を「大阪市西区富島」に改める。

◎運輸省告示第二百十七号

内海備讃瀬戸帆掛岩西方に、次の仮設掛燈浮標を設置して、昭和二十二年七月十日點燈を開始した。

昭和二十二年八月十一日 運輸大臣 苫米地義三

名称	帆掛岩仮設掛燈浮標
位置	備讃瀬戸帆掛岩西方七五米
東経	一三三度五八分〇〇秒
北緯	三四度二六分三〇秒
塗色及び構造	紅色、截頭円錐形、上部櫓型鉄造
燈質	閃白光毎五秒一閃光 アセチレン瓦斯燈
明弧	全度
燈高（水面上）	三・三米
光力	六〇燭光
光達距離	七浬
記事	水深八米

◎逓信省告示第二百五十七号

昭和十七年十一月逓信省告示第千四百七十五号「電氣通信工事局ノ名称、位置及受持区域ノ件」別表中次のように改正する。

昭和二十二年八月十一日 逓信大臣 三木 武夫

一、旭川電氣通信工事局の項受持区域の欄を次のように改める。

石狩國ノ内 旭川市、雨龍郡、上川郡

天塩國ノ内 増毛郡、留萌郡、苫前郡、中川郡美深町

二、北見電氣通信工事局の項の次に次のように加える。

稚内電氣通信工事局	北海道宗谷郡稚内町	北見國ノ内 宗谷郡、枝幸郡、利尻郡、禮文郡 天塩國ノ内 天塩郡、中川郡（美深町ヲ除ク）

正誤

七月十六日物價廳告示第四百二号中一の部Cの行「四〇〇」は「四三〇」、二の部（ハ）の部初行「發駅貨車乘り渡し」は「發駅貨車乘り渡し（鉄道用向）」、四の部初行「生産業者」は「生産業者以外の者」のいずれも誤り。

總理廳事務官（物價廳）

七月三十一日大藏省、農林省、厚生省告示第一号八行「日本蕃椒卸商業協同組合」は「全國蕃椒卸商業協同組合」、同十行「日本辛子粉工業協同組合」は「全國辛子粉工業協同組合」、同十二行「日本糠油工業協同組合」は「全國糠油工業協同組合」、同十三行「養豚工業組合」は「日本養豚工業統制組合」のいずれも誤り。

大藏事務官

敍任及辭令

◎昭和二十二年七月八日
従七位に敍する 津田仙太郎

◎昭和二十二年七月九日
従七位に敍する 加瀬 忠

◎昭和二十二年七月十二日
従七位に敍する 地主久次郎

◎昭和二十二年八月二日
物價廳次長に任命する 大原總一郎
一級に敍する 箕田 貢
厚生技官に任命する
一級に敍する 厚生事務官 加藤 等

（各通）
運輸技官 大川 一郎
同 小宅 習吉

一級に陞敍する 同 速水 洪

厚生技官に任命する
二級に敍する 厚生事務官 横山留五郎

二級に陞敍する 二宮 賢二
並木 正吉

（各通）
農林事務官に任命する
二級に敍する
河原 一夫 藤田金次郎
森本 一勇 古保鐵三郎
古川宇三郎 渡邊鐵四郎
塩入 英次 中野 政弘

（通各）
農林技官に任命する
二級に敍する 宮本健太郎

（各通）
二級に敍する 文部事務官 近藤 一緒
佐古田光雄
服部 進

（各通）
商工技官に任命する
二級に敍する 石渡 達夫
土井 五男

（各通）
會計検査院事務官に任命する
二級に敍する 農林事務官 山口 廣司

地方事務官に任命する
二級に敍する 地方事務官 菊池 島治

地方教官 下森喜代一 同 進藤 武雄

（通各）
同 由井 安一 同 村上 俠輔
同 島村不二香 同 野内小三郎
同 永田 明 同 稲垣 葉清
同 谷口千代治 同 鷲塚 ...
同 奥村 達夫 同 西村 辰之助
同 片岡 類斉 同 平上 正夫
同 小津 一 同 江田 茂
同 橋方 義海 同 太田 盛行
同 緒方 太 同 馬場 義之
同 吉庄 岩太 同 能丸 儀一
同 古畑 千鶴 同 仲村チヨコ
同 高田 下ク 同 幸 カツヱ
同 島元 王 同 宮來フジヱ
同 坂生 久人 同 竹田 倉吉
同 芋生 一郎 同 田中 弘之
同 御番戸純一 同 森 千春
同 平田 司 同 川崎 弥太
同 牧野 力雄 同 石松 寛
同 村山 八郎 同 田久保 聰
同 後藤 三郎 同 細岡 文子
同 力久 正己 同 村上 初喜
同 浦田 義明 同 柳 喜一郎
同 渡邊 信正 同 室谷 俊雄
同 伊熊 良穂 同 西岡敬之介
同 藤井 敏男 同 田代 純
同 東海林政二 同 野島 寅吉
同 池口 清倹 同 荒川 勇
同 前田 股 同 鳥居 貞美
同 佐々木富枝 同 樋原 知雄
同 縣 卷太郎 同 浅野 睦雄
同 石田 正一 同 榎並 鹿藏
同 宮浦藤右衛門 同 青山健一郎
同 宮崎 善郎 同 河合 厚水

二級に陞敍する

◎昭和二十二年八月六日

最高裁判所長官秘書官に任命する
二級に敍する 藤井 吉隆

———◇———

願に依り本官を免ずる（八月二日内閣） 判事 内田善次郎

總理廳事務官 土屋 昇
戰災復興院土地局整地課勤務を命ずる（七月三十一日總理廳）

物價廳次長 大原總一郎
二十七号俸を給する

（各通）
教育刷新委員会委員を免ずる 岩田 均
森戸 辰男

（通各）
願に依り教育刷新委員会委員を免ずる
竹下 豊次 円谷 光衛
井上 知治 森山 ヨネ
及川 規 中田榮太郎
奥 文炳 河西豐太郎
有馬 英二

特許標準局長官 久保敬二郎
発明奨励委員会委員を免ずる

（各通）
発明奨励委員（会副会長を命ずる
總理廳技官 藤田金一郎
文部事務官 清水 勤二
文部教官 野口 尚一
同 春日井新一郎
厚生技官 松尾 仁
農林技官 平塚 英吉
同 盛永俊太郎
同 田内森三郎
同 原 幸夫
商工事務官 松田 太郎
同 荒井 浩
商工技官 大野 晋
同 秋山信三
同 齋藤 信治
同 井上 春成
同 角 倖利策

発明奨励委員会委員を命ずる（以上八月二日同）
運輸技官 中原壽一郎
逓信技官 駒形 作次
明石 和衛 浅間 遡平
荒川大太郎 飯野 龍藏
市川 寛 磯村 乙巳
氏家 壽子 古部 五郎
江副 元三 大幡 久一
木村 宗一 佐々木六郎
塩谷狩野吉 柴谷 邦
賀 武夫 關本 賢治
山川 英藏 和田 三造

運輸事務官 吉田善次郎
海運總局船員局調査課長を命ずる

同 太田九州男
海運總局船員局調査課長兼務を免ずる

同 市川 猛雄
中國海運局運航部長を命ずる

同 横田 千
関東海運局東京支局長を命ずる

同 中村 幹夫
東海海運局運航部長を命ずる（以上七月二十四日運輸省）

運輸技官 石原 米彦
門司鉄道局小倉管理部長を命ずる（八月六日同）

最高裁判所長官秘書官 藤井 吉隆
二十号俸を給する（八月六日最高裁判所）

宮廷録事

◎御安著 皇后陛下は、本月八日午前八時二十五分御出門、同八時四十分原宿駅御発車、同十一時五十八分黒磯駅御著車、午後零時二十五分那須御用邸に御安著あらせられた。

國会

○衆議院

◎議案提出 八月六日内閣から提出された議案は次の通りである。

大藏省預金部等の債權の條件変更等に関する法律案

災害救助法案

◎答弁書受領 八月六日内閣から次の答弁書を受領した。

衆議院議員石山賢吉提出産業科学研究機関の設置に関する質問に対する答弁書

◎議事日程 八月七日の議事日程は次の通り。

議事日程 第二十一号

昭和二十二年八月七日(木曜日)

午後一時開議

第一 ソ連領からの復員促進に関する請願(第九号)

第二 ソ連軍占領地よりの復員促進に関する請願(第五十六号)

第三 漁業組合法を廃止する法律案(内閣提出、衆議院送付)

第四 國家賠償法案(内閣提出)

○參議院

◎議員死去及び弔詞 參議院議員大西十寸男君は七月二十九日死去したので八月二日左の弔詞を贈つた。

參議院ハ議員大西十寸男君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

◎任命及び辞令

台湾総督府州部長 青木 茂

任參議院參事

參事 青木 茂

警務課長兼法制部勤務ヲ命ス

同 宮坂 完孝

警務課長兼務ヲ免ス (以上八月四日參議院)

地方行政

◎県会 香川県において、七月三十日招集の定例県会は原案可決同三十一日閉会した。(香川県)

廣告

◎工場財團

東京都千代田区神田鍛冶町二丁目二番地五東洋工機株式会社より東京都板橋区練馬土支田町一丁目五百五十五番地ノ一、同番地ノ二、同番地ノ三、同番地ノ四、同番地ノ五所在の東洋工機株式会社成増工場に属する建物並びに機械器具に対し工場財團組成のため所有権保存登記の申請があつたから右財團に属する動産について権利を有する者又は差押、仮差押若しくは仮処分の債権者はこの公告掲載の日より三十日以内にその権利を当廳に申し出られたい。

但し右財團に属するものの目録は当廳に備付けてあるから関係者の閲覧に供する。

昭和二十二年八月十一日

東京司法事務局練馬出張所

◎賣拂公告

一、賣拂物件の所在、種目、構造及び数量、 千葉縣館山市館山築港内 木造貨物船二五〇噸 一隻

二、入札心得書及び契約條項を示す場所 当局國有財産部第二管理課

三、入札及び開札の日時 八月二十九日自午前十時至同十一時入札、入札締切後即時開札

四、入札の場所 当局國有財産部第二管理課

五、入札加入保証金 入札見積金額の百分の五以上、但し保証金は現金又は第一封鎖預金により入札前当局に納付すること。

右公告致します。

昭和二十二年八月十一日 東京財務局

◎公示催告

合併公告

昭和二十二年七月一日開催の下記会社株主総会において(甲)香栄興業株式会社は(乙)スター商事株式会社を合併しその権利義務を承継し(乙)スター商事株式会社は解散するの決議致候に付右に対し御異議有之候債権者は本公告の日より二箇月以内に御申出相成度商法の規定により此段公告候也

昭和二十二年八月十一日

東京都千代田区神田小川町一丁目六番地

(甲)香栄興業株式会社

代表取締役 渡邊 元泉

東京都中央区築地一丁目二番地

(乙)スター商事株式会社

代表取締役 二階堂 軍雄

解散公告

当会社は株主総会の決議により解散致しましたから当会社に債権を有する方は昭和二十二年九月三十日迄に申し出で下さい。右期限内に申し出でのないときは清算から除斥されます。

昭和二十二年七月二十二日

東京都中央区槇町三丁目二番地

南洋水産株式会社

清算事務所東京都千代田区丸の内二丁目一八番地

清算人 中村 俊吉

昭和二十二年三月十五日開催の臨時株主総会の決議に基き資本金総額を現在額の四分の一に減少することになりましたから債権者で右減資に異議ある方は本公告掲載の日より六十五日以内にその旨御申し出で下さい。

昭和二十二年八月十一日

東京都中央区日本橋本町一丁目四番地二

昭和電氣工業株式会社

解散公告

当会社は社員総会の決議により昭和二十二年六月三十日に解散致しました。就いては当会社に対し債権を有せらるる向は本公告掲載の日より二箇月以内に御申し出を願ひます。万一御申し出の無い時は債権より除斥致しますから御了承願ひます。

昭和二十二年四月十四日

東京都墨田区亀沢町四の七

有限会社本所鋼材商店

清算人 殿畑 宗次郎

同 山口 惣吉

解散公告

当会社は四月三十日総社員の同意により解散致すこととなりましたからこの公告の日より二箇月以内に異議申し出でられたく若し異議なき時は清算より除斥致します。

昭和二十二年五月三十日

東京都江東区深川枝川町二の一

合資会社井上鉄工所

当会社は昭和二十二年七月十八日の社員総会において東京都江東区深川枝川町二丁目六番地有限会社三栄商会の組織を変更して同所において従前通資本金十九万五千円株式会社三栄商会となしたるに付きこれに対し異議ある債権者は本公告の日より二箇月間に異議の申出相成度此段及公告候

昭和二十二年七月二十二日

東京都江東区深川枝川町二丁目六番地

有限会社三栄商会

代表取締役 飯島 萬次郎

解散公告

本財團は本年五月四日解散となりました。ついては本財團に債権を有せらるる方は本公告掲載の日より二箇月以内に債権の申し出あり度くこの期間内に申し出のないときは清算から除斥せられます。

昭和二十二年八月十一日

大阪市東区鎗屋町一丁目一番地の乙

財團法人大阪東洋人会本部

清算人 伊藤 甲子次郎

解散公告

当会社は昭和二十二年六月三十日社員総会の決議で解散した。当社に対して債権のある者はこの公告の日から二箇月以内に申し出でられ度い。若しこの期間内に申し出のないときは清算から除斥せられる。

昭和二十二年七月十五日

大阪市東区瓦町四丁目四五番地

三洋衣料工業有限会社

清算人 山澤 潔

解散公告

当会社は昭和二十二年六月三十日株主総会にて解散仕候に付き当社に債権を有せらるる方は本公告掲載の日より二箇月以内に御申出相成度候右期間内に御申出なきときは清算より除斥可致候

昭和二十二年七月二十日

大阪市東区安土町二丁目三〇

日本紡績株式会社内

東亜化学工業株式会社

清算人 伊藤 豊四郎

解散公告

当会社は昭和二十二年六月総会の決議で解散した。当社に対し債権のある者はこの公告の日から二箇月以内に申し出でられ度い。若しこの期間内に申し出のないときは清算から除斥せられる。

昭和二十二年六月三十日

大阪市西区京町堀上通一丁目五番地

大力寒天有限会社

清算人 山本 久吉

決議公告

昭和二十二年五月十七日株主総会の決議により三和商事株式会社は三和光学工業株式会社を合併し三和光学工業株式会社は解散し存続会社は右株式会社の権利義務を承継することに決議致候に付き異議有る債権者は本公告の日より二箇月間内に其旨申出有之度此段及公告候也

昭和二十二年八月十一日

大阪市南区久左衛門町二四番地

三和商事株式会社

取締役社長 西井 五十春

決議公告

昭和二十二年五月十七日株主総会の決議により三和商事株式会社は三和光学工業株式会社を合併し三和光学工業株式会社は解散し存続会社は右株式会社の権利義務を承継することに決議致候に付き異議有る債権者は本公告の日より二箇月間内に其旨申出有之度此段及公告候也

昭和二十二年八月十一日

大阪市南区久左衛門町二四番地

三和光学工業株式会社

取締役社長 西井 五十春

解散公告

本会社は昭和二十二年二月二十四日株主総会の決議により解散致候間本会社に債権を有する方は本公告掲載の翌日より二箇月以内に御申出相成度く若し右期間内に御申出無之ときは右清算より除斥致す可く候右商法の規定により公告候也

昭和二十二年三月二十九日

大阪市南区塩町通二丁目五番地

株式会社桐山商店

兵庫縣川辺郡西田町小戸勝田五番地

清算人 桐山 秀雄

解散公告

本組合は二月末日をもつて法定解散仕候に付き債権を有せらるる方は本公告掲載の翌日より二箇月以内に申出相成度若し該期間中に申出なきときは清算より除斥可致候

昭和二十二年八月十一日

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五 天六ビル六階

近畿電氣機械修工業統制組合

清算人 中島 謙二

合併に付き公告

昭和二十二年六月十七日開催の下名両会社の各臨時株主総会において新興農機具株式会社は大同印刷機械株式会社を合併しその権利義務を承継して存続し大同印刷機械株式会社は合併により解散することを決議致候に付き右に対し異議有る債権者は本公告掲載の翌日より二箇月内にその旨御申出相成度此段公告候也

昭和二十二年七月一日

豊中市桜塚東通四丁目一七番地

新興農機具株式会社

大阪市東淀川区野中南通二丁目二六番地

大同印刷機械株式会社

債権申出公告

当会社は昭和二十一年十二月十五日社員総会の決議により解散致候に付き当会社に債権を有せらるる方は昭和二十二年十月十五日迄にその債権の申出相成度若し右期日迄に申出無之ときは清算より除斥可致此段及公告候也

昭和二十二年六月二十六日

大阪市東成区大今里北之町四丁目二九九番地

大阪合同ペタル有限会社

清算人 小澤 好次

解散債権申出公告

当会社は昭和二十二年六月二十五日社員総会の決議で解散した。当社に対して債権あるものはこの公告の日から二箇月以内に申し出でられたい。若しこの期間内に申し出のない時は清算から除斥せられる。

昭和二十二年八月十一日

横浜市保土ケ谷区星川町二丁目一七二番地

[illegible]有限会社

清算人 高崎 芳雄

合併公告

昭和二十二年六月九日開催の下記会社株主総会において陸前繊維株式会社は双葉繊維株式会社を合併しその権利義務を承継し双葉繊維株式会社は解散するの決議致候に付き右に対し異議有之候債権者は本公告後六十日以内に御申出相成度商法の規定により此段公告候也

昭和二十二年六月九日

豊橋市花田町字小松八番地

陸前繊維株式会社

代表取締役 戸田 郡夫

双葉繊維株式会社

代表取締役 高崎 勝治

合併公告

昭和二十二年六月九日開催の下記会社社員総会において[illegible]光商店株式会社は合資会社草間屋商店を合併しその権利義務を承継し合資会社草間屋商店は解散するの決議致候に付き右に対し異議有之候債権者は本公告後六十日以内に御申出相成度商法の規定により此段公告候也

昭和二十二年六月九日

豊橋市[illegible]五番地

[illegible]光商店株式会社

代表取締役 渡邊 [illegible]郎

豊橋市新銭町字[illegible]八番地の一

合資会社草間屋商店

代表社員 加藤 直吉

債権申出公告

当会社は昭和二十二年六月三十日社員総会の決議により解散しましたので当会社に債権を有する方は、本公告掲載の日より向う二箇月以内に申し出て下さい。若し右期間内に申し出のない時は清算より除斥します[illegible]

昭和二十二年七月十五日

[illegible]郡[illegible]町大字府相字[illegible]一二七〇番地

[illegible]有限会社

清算人 宮田 久平

解散公告

当会社は昭和二十二年六月三十日株主総会の決議により解散致候に付き当会社に債権を有せらるる方は本公告掲載の日より向う二箇月以内にその旨御申出相成度若し右期間中に御申出無之ときは清算より除斥可致此段商法の規定により公告候也

昭和二十二年七月三十日

滋賀縣彦根市江戸町二番地

菱和工業株式会社

清算人 佐藤 [illegible]郎

同 鶴野 [illegible]

同 井上 英貞

会社合併公告

昭和二十二年七月十五日開催の下記会社の株主総会において末廣自動車工業株式会社は末廣土木建築株式会社、末廣運送株式会社、海光納運株式会社及び合同自動車株式会社を合併し其の権利義務、資産並びに負債を継承して存続し末廣運送株式会社、海光納運株式会社、合同自動車株式会社は合併後解散することに決議致候に付き異議ある債権者は本公告の翌日より二箇月以内に関係会社にその旨申出相成度商法の規程により公告候也

昭和二十二年七月二十一日

呉市廣町一〇七九二番地の一

末廣自動車工業株式会社

同 末廣土木建築株式会社

同 末廣運送株式会社

同 合同自動車株式会社

呉市中通二丁目九番地

海光納運株式会社

◎除権判決

廣島縣佐伯郡中村四千九百三十九番地ノ一

申立人 川本 正史

右法定代理人 藤松 逸郎

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月十三日 廣島地方裁判所

一 廣島瓦斯株式会社株券(イ)十株券一枚(ロ)一株券二枚

株券番号 (イ)い乙第四三五四号 (ロ)ろ丁第〇七二〇号、ろ丁第〇七二一号

額面 (イ)金五百円(ロ)金五十円

一株金額 金五十円

商号 廣島瓦斯株式会社

発行年月日 昭和十五年十月一日

発行者 廣島瓦斯電軌株式会社取締役社長 山口 吾一

最終株主 川本茂一

最終所持人 川本正史

廣島縣佐伯郡中村四千九百三十九番地ノ一

申立人 川本 正史

右法定代理人 藤松 逸郎

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月十三日 廣島地方裁判所

一 廣島電鉄株式会社株券(イ)五株券一枚(ロ)一株券二枚

株券番号 (イ)丙第一一五号(ロ)丁第五五五七号、丁第五五五八号

額面 (イ)金二百五十円(ロ)金五十円

一株金額 金五十円

商号 廣島電鉄株式会社

発行年月日 昭和十七年四月十日

発行者 廣島電鉄株式会社取締役社長 山口 吾一

最終株主 川本茂一

最終所持人 川本正史

廣島縣安佐郡福木村馬木

申立人 下西 仁太郎

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月十三日 廣島地方裁判所

一 中國配電株式会社株券五十株券一枚

株券番号 丁第九五七二号

額面 金二千五百円

一株金額 金五十円

商号 中國配電株式会社

発行年月日 昭和十七年八月一日

発行者 中國配電株式会社社長 鈴川貫一

最終株主並最終所持人 下西仁太郎

廣島市観音本町一丁目四百三十六番地

申立人 前田 五六

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月十三日 廣島地方裁判所

一 廣島縣地方木材株式会社株券十株券三枚

株券番号 自第三八九号至第三九一号

額面 金五百円

一株金額 金五十円

商号 廣島縣地方木材株式会社

発行年月日 昭和十九年十月一日

発行者 廣島縣地方木材株式会社社長 田中好一

最終株主 前田五六

最終所持人 前田五六

廣島縣安藝郡府中町三千六百七十番地

申立人 小川 秀吉

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月十三日 廣島地方裁判所

一 中國配電株式会社株券五株券一枚

株券番号 乙第八九四八号

額面 金二百五十円

一株金額 金五十円

商号 中國配電株式会社

発行年月日 昭和十七年八月一日

発行者 中國配電株式会社社長 鈴川貫一

最終株主 小川秀吉

最終所持人 小川秀吉

廣島縣比婆郡比和町大字比和七百三十番地

申立人 福島 林之助

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月十三日 廣島地方裁判所

一 廣島縣地方木材株式会社株券(イ)五十株券一枚(ロ)十株券四枚

株券番号 (イ)い丁第六〇九号(ロ)自い丙第四五九九号至い丙第四六〇二号

額面 (イ)金二千五百円(ロ)金五百円

一株金額 五十円

商号 廣島縣地方木材株式会社

発行年月日 昭和十九年十月一日

発行者 廣島縣地方木材株式会社社長 田中好一

最終株主 福島林之助

最終所持人 福島林之助

廣島縣世羅郡小國村百三十五番地

田原蔵子相続人

申立人 田原 光則

右法定代理人 田原 強

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月十三日 廣島地方裁判所

一 中國配電株式会社株券五十株券一枚

株券番号 丁第二三六九四号

額面 金二千五百円

一株金額 金五十円

商号 中國配電株式会社

発行年月日 昭和十七年八月一日

発行者 中國配電株式会社社長 鈴川貫一

最終株主 田原蔵子

最終所持人 田原光則

廣島縣安佐郡福木村字福田七千九百八十九番地

申立人 中近 リエ

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月十三日 廣島地方裁判所

一 中國配電株式会社株券(イ)一株券四枚(ロ)一株券七枚

株券番号 (イ)自甲第四八[illegible]号(ロ)自丙第[illegible]号至丙第[illegible]号

第 6172 号 本文

額面　(イ)金五十円(ロ)金五百円
一株金額　金五十円
商号　中國配電株式会社
発行年月日　昭和十七年九月二十日
発行者　中國配電株式会社社長鈴川貫一
最終株主並最終所持人　中近リヱ

廣島市銀山町十二番地
　申立人　桂　明男

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月十三日　廣島地方裁判所

一　中國配電株式会社株券(イ)十株券五枚(ロ)五十株券一枚
株券番号　(イ)自丙第六三〇五八号至丙第六三〇六二号(ロ)丁第二七五七九号
額面　(イ)金五百円(ロ)金二千五百円
一株金額　金五十円
商号　中國配電株式会社
発行年月日　昭和十七年八月一日
発行者　中國配電株式会社社長鈴川貫一
最終株主並最終所持人　桂明男

三重縣四日市市泊山崎町三十一号
　申立人　伊達たつ

別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年八月二十日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年三月十九日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月二十四日　名古屋簡易裁判所

(別紙)　物件目録
一　株式会社東海銀行株式三十五株
株券一枚ノ額面　金五百円也全額拂込済
株券記番号　甲ろ十株券三枚自第九七〇〇号至第九七〇二号
株券一枚ノ額面　金二百五十円全額拂込済
但五株券一枚此記番号　甲は第四六八号
一　株式会社東海銀行第一新株式二十五株
株券一枚ノ額面　金五百円也一株ニ付金五十円
株券一枚ノ拂込金額　金三百円也一株ニ付金三十円
但十株券二枚此記番号　乙ろ自第四八一八号至第四八一九号
株券一枚ノ額面　金二百五十円一株ニ付金五十円　株券一枚ノ拂込金額金百五十円一株ニ付金三十円
但五株券一枚此記番号　乙は第二二五号
発行年月日　昭和十六年十二月一日
発行者　名古屋市中区御幸本町通八丁目十八番地株式会社東海銀行取締役会長渡辺義郎取締役頭取井倉和雄
最終株主　四日市市中町三番屋敷　伊達たつ

名古屋市中村区稲宮町二丁目一番地ノ一
　申立人　鬼頭金雄

別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年八月二十日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年三月二十八日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月二十四日　名古屋簡易裁判所

(別紙)　目録
一　株式会社東海銀行第二新株式十株券一枚
但シ
一　記号番号　丙ろ一七〇〇七号
一　株券額面　金五百円
一　一株ノ拂込金額　金二十五円
一　発行年月日　昭和十六年十二月一日
一　発行者　株式会社東海銀行取締役会長渡辺義郎取締役頭取井倉和雄
一　最終株主　鬼頭金雄

三重縣桑名郡長島村大字大島百二十七番地ノ三十七
　申立人　平野周藏

別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから、当裁判所は昭和二十一年八月二十四日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年三月二十四日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月二十四日　名古屋簡易裁判所

(別紙)　目録
中部配電株式会社株式十株券五枚
但シ
一　株券額面　金五百円
一　拂込額　金五百円
一　記号及番号　い乙自第五五四二三号至第五五四二七号
一　発行者　名古屋市中区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社社長海東要造
一　最終ノ株式名義人　平野周藏
一　発行年月日　昭和十七年八月一日
一　最初ノ株式名義人　東邦電力株式会社

岐阜縣岐阜市本郷町三丁目五二番地ノ一
　申立人　加藤孝三
　右法定代理人親権者　加藤てい

別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年九月二十五日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年四月二十八日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月二十四日　名古屋簡易裁判所

(別紙)　目録
愛知製鋼株式会社株式十株券五枚、五十株券一枚
(旧称豊田製鋼株式会社)
一　株券額面一株ニ付　金五十円
一　一株ニ付拂込額　金五十円
一　株券記号及番号　十株券丙自第五五六八一号至第五五六八五号、五十株券乙第九八〇号
一　発行年月日　昭和十五年七月一日
一　発行者　豊田製鋼株式会社取締役社長豊田利三郎
一　株式名義人　加藤孝三

名古屋市昭和区円上町一丁目九番地
　申立人　立松義雄

別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年八月二十日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年三月三十一日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月二十四日　名古屋簡易裁判所

(別紙)　目録
一　ワシノ製機株式会社株式五十株一枚
株券額面　金二千五百円
一株ニ付拂込　金五十円
株券記号及番号　東第一六六号
発行年月日　昭和十七年五月十五日
一　ワシノ製機株式会社株式十株券一枚
株券額面　金五百円
一株ニ付拂込　金五十円
株券記号及番号　亜第五六七号
発行年月日　昭和十七年五月十五日
株券発行者　名古屋市中区岩井通三丁目十九番地ワシノ製機株式会社取締役社長鷲野卯八
株式名義人　立松義雄

名古屋市昭和区円上町一丁目九番地
　申立人　立松義雄

別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年八月二十日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年三月三十一日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月二十四日　名古屋簡易裁判所

(別紙)　目録
一　大同製鋼株式会社株式五十株券一枚
株券額面　金二千五百円
一株ニ付拂込　金五十円
株券記号及番号　ろ丙第五三八五号
一　大同製鋼株式会社株式十株券十五枚
株券額面　金五百円
一株ニ付拂込　金五十円
株券記号及番号　ぬ乙自第九九八一号至第九八八三号、ぬ乙自第九九五七号至第九九六三号、る乙自第一七三〇七号至第一七三一一号
一　大同製鋼株式会社株式十株券二十枚
株券額面　金五百円
一株ニ付拂込　金十二円五十銭
株券記号及番号　か乙自第一四四三五号至第一四四三九号、自第一四四五六号至第一四四七〇号
株券発行者　名古屋市南区星崎町字繰出六十六番地大同製鋼株式会社
株式名義人　立松義雄

富山市星井町八六、当時同市神通町六一六
　申立人　長棟武平

右申立人から別紙目録表示の株券について公示催告の申立があつたので金沢区裁判所は公示催告を爲したところ昭和二十二年五月九日午前十時の期日までに権利の届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから、申立人の申立に基いて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　金沢地方裁判所

(別紙)　目録
一　北陸鉄道株式会社株式一株券一枚
一　株券額面　金二百円也
一　一株の拂込額　金四十円也
一　記号番号　い乙第五三七七号
一　発行者　北陸鉄道株式会社取締役社長林屋亀次郎
一　発行年月日　昭和十八年十月十三日
一　最終株主　長棟武平

富山市星井町八六、当時同市神通町六一六
　申立人　長棟文平

右申立人から別紙目録表示の株券について公示催告の申立があつたので金沢区裁判所は公示催告を爲したところ昭和二十二年五月九日午前十時の期日までに権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから申立人の申立に基いて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　金沢地方裁判所

(別紙)　目録
一　北陸鉄道株式会社株式一株券三枚
一　株券額面　金五十円也
一　一株の拂込額　金四十円也
一　記号番号　い乙自第五三七四号至第五三七六号
一　発行者　北陸鉄道株式会社取締役社長林屋亀次郎
一　発行年月日　昭和十八年十月十三日
一　最終株主　長棟文平

富山市星井町八六、当時同市神通町六一六
　申立人　長棟六郎
　右代理人　長棟文平

右申立人から、右代理人、別紙目録表示の株券について、公示催告の申立があつたので、金沢区裁判所は公示催告を爲したところ、昭和二十二年五月九日午前十時の期日までに、権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから、申立人の申立に基いて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　金沢地方裁判所

(別紙)　目録
一　北陸鉄道株式会社株式一株券二枚
一　株券額面　金一百五十円也
一　一株の拂込金額　金四十円也
一　記号番号　ろ乙第六六八号、い乙第五三七三号
一　発行者　北陸鉄道株式会社取締役社長林屋亀次郎
一　発行年月日　昭和十八年十月十三日
一　最終株主　長棟六郎

富山縣射水郡本江村一八六七宮垣筧方
　申立人　関野清平

右申立人から、別紙目録表示の株券について、公示催告の申立があつたので、金沢区裁判所は公示催告を爲したところ、昭和二十二年五月十日午前十時の期日までに、権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから、申立人の申立にもとずいて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月十日　金沢地方裁判所

(別紙)　株券目録
北陸鉄道株式会社株券四枚此株式数四株
一　記号番号　い乙自一〇〇九六号至一〇〇九九号
一　株券額面　金五十円
一　一株ノ拂込額　金四十円
一　発行年月日　昭和十八年十月十三日
一　発行者　北陸鉄道株式会社取締役社長林屋亀次郎
一　最終ノ株式名義人　関野清平

富山市南新町一四
　申立人　山崎松次郎
　右代理人　山崎ヤヱ

右申立人から、右代理人、別紙目録表示の株券について、公示催告の申立があつたので、金沢区裁判所は公示催告を爲したところ、昭和二十二年五月十四日午前十時の期日までに、権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから、右申立人の申立に基ずいて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月十四日　金沢地方裁判所

(別紙)　株券目録
北陸鉄道株式会社株券一枚此株式数十株
一　記号番号　は乙一〇一三号
一　株券額面　金五百円
一　一株ノ拂込金額　金四十円
一　発行年月日　昭和十八年十月十三日
一　発行者　金沢市上胡桃町五十二番地北陸鉄道株式会社取締役社長林屋亀次郎
一　最終株主名義人　山崎松次郎

呉市両城町百九十七番地
　申立人　菅原十一家督相続人　菅原重雄

別紙表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月六日午前九時迄ニ権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　廣島地方裁判所

一　廣島機帆船運送株式会社株券(イ)百株券一枚(ロ)十株券二枚
株券番号　(イ)は第八十三号(ロ)ろ第三十六号、ろ第三十七号
額面　(イ)五千円(ロ)金五百円
一株金額　金五十円
商号　廣島機帆船運送株式会社
発行年月日　昭和十八年十月一日
発行者　廣島機帆船運送株式会社取締役社長中村藤太郎
当初株主　中村謙太郎
最終株主　菅原十一
最終所持人　菅原重雄

廣島市吉田町大字吉江九百十一番地
　申立人　久保田フクノ

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月十三日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月十三日　廣島地方裁判所

一　中國配電株式会社株券(イ)十株券二枚、(ロ)一株券一枚
株券番号　(イ)丙第五三二七四号丙第五三二七五号、(ロ)甲第五一二九三号
額面　(イ)金五百円(ロ)金五十円
一株金額　金五十円
商号　中國配電株式会社
発行年月日　昭和十七年八月一日
発行者　中國配電株式会社社長鈴川貫一
最終株主　久保田フクノ
最終所持人　久保田フクノ

高知市通町百三十番地
　申立人　宮地虎四郎
山口市大字今道
　右申立代理人　原田市之進

右の申立人の申立により次の目録に記載した株券について公示催告を爲した処昭和二十二年五月九日午前九時の期日迄に権利を届出で且株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて右の株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　山口地方裁判所

目録
一　小野田セメント製造株式会社(新株)三十枚
株券　十株券三枚　(此額面金一枚ニ付五百円也)
一株額面金五十円也　一株拂込金二十五円也
記号番号　記ろ番第九五四〇番より第九五四二番まで三枚
最終株主　宮地虎四郎
株券発行者　小野田セメント製造株式会社取締役社長狩野宗三　以上

下関市一ノ宮別所七〇一番地
　申立人　今井龍一
下関市貴船町八四一番地
　右申立代理人弁護士　倉重達郎

右の申立人の申立により次の目録に記載した株券について公示催告を爲した処昭和二十二年五月九日午前九時の期日迄に権利を届出で且株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて右の株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　山口地方裁判所

目録
一　小野田セメント製造株式会社十株券二十一枚
額面　金五百円　拂込金額全額
記号番号　甲記ろ番自第二三七五号至第二三七六号、同第三二七四号、同第三八九四号、乙記ろ番第一二三一号、同第四八七一号、同第二三五八号、戊記ろ番自第五四六〇号至第五四六六号、同自第五四六八号至第五四六九号、壬記ろ番自第二二六七号至第二二七〇号、乙丁記ろ番第三四号
一　同会社一株券九枚
額面　金五十円　拂込金全額
記号番号　乙記い番自第六三五四号至第六三六二号
右各株券ノ発行者　小野田市小野田セメント製造株式会社
最後の名義人　今井龍一

廣島市中島新町五五番地の一
　申立人　中下七兵衛

右の申立人の申立により次の目録に記載した株券について公示催告を爲した処昭和二十二年五月九日午前九時の期日迄に権利を届出で且株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて右の株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　山口地方裁判所

目録
一　宇部興産株式会社五十株券二枚
記号番号　は号丁第六五一号、第六五二号
額面　金二千五百円　拂込金千八百七十五円
発行年月日　昭和十七年六月八日
発行者　宇部市宇部興産株式会社取締役社長俵田明
最後の名義人　中下七兵衛

愛媛縣越智郡波止浜町蓬莱町一区
　申立人　後藤田百合子
山口市道場門前
　右申立代理人　後藤田眞

右の申立人の申立により次の目録に記載した株券について公示催告を爲した処昭和二十二年三月十四日午前九時の期日迄に権利を届出で且株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて右の株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　山口地方裁判所

目録
一　小野田セメント製造株式会社一株券六枚
記号番号　辛記い番自第一九四九号至第一九五四号
額面　金五十円　拂込金五十円
発行年月日　昭和十三年九月二十五日
発行者　小野田市小野田セメント製造株式会社取締役社長笠井眞三
最後の名義人　後藤田百合子

宇部市北琴芝編重方
　申立人　小林新

右の申立人の申立により次の目録に記載した株券について公示催告を爲した処昭和二十二年五月九日午前九時の期日迄に権利を届出で且株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて右の株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　山口地方裁判所

目録
一　宇部興産株式会社五株券一枚
記号番号　い号乙第四五八一号
額面　金二百五十円　拂込金二百五十円
一　宇部興産株式会社十株券九枚
記号番号　い号丙自二二八四二号至二二八五〇号
額面　金五百円　拂込金五百円
一　宇部興産株式会社十株券八枚
記号番号　は号丙自第一三八三一号至第一三八三八号
額面　金五百円　拂込金三百七十五円
以上各株券の最後の名義人　小林新
発行者　宇部興産株式会社取締役社長俵田明
発行年月日　昭和十七年六月八日

宇部市大字沖宇部一一九番地ノ二
　申立人　飯田和子
同所
　右未成年に付親権者　飯田理一

右の申立人の申立により次の目録に記載した株券について公示催告を爲した処昭和二十二年三月九日午前九時の期日迄に権利を届出で且株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて右の株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月九日　山口地方裁判所

目録
一　宇部興産株式会社旧一株券三枚
記号番号　い甲自第五〇八号至第五一〇号
額面　金五十円
拂込金　五十円

第6172号　本文

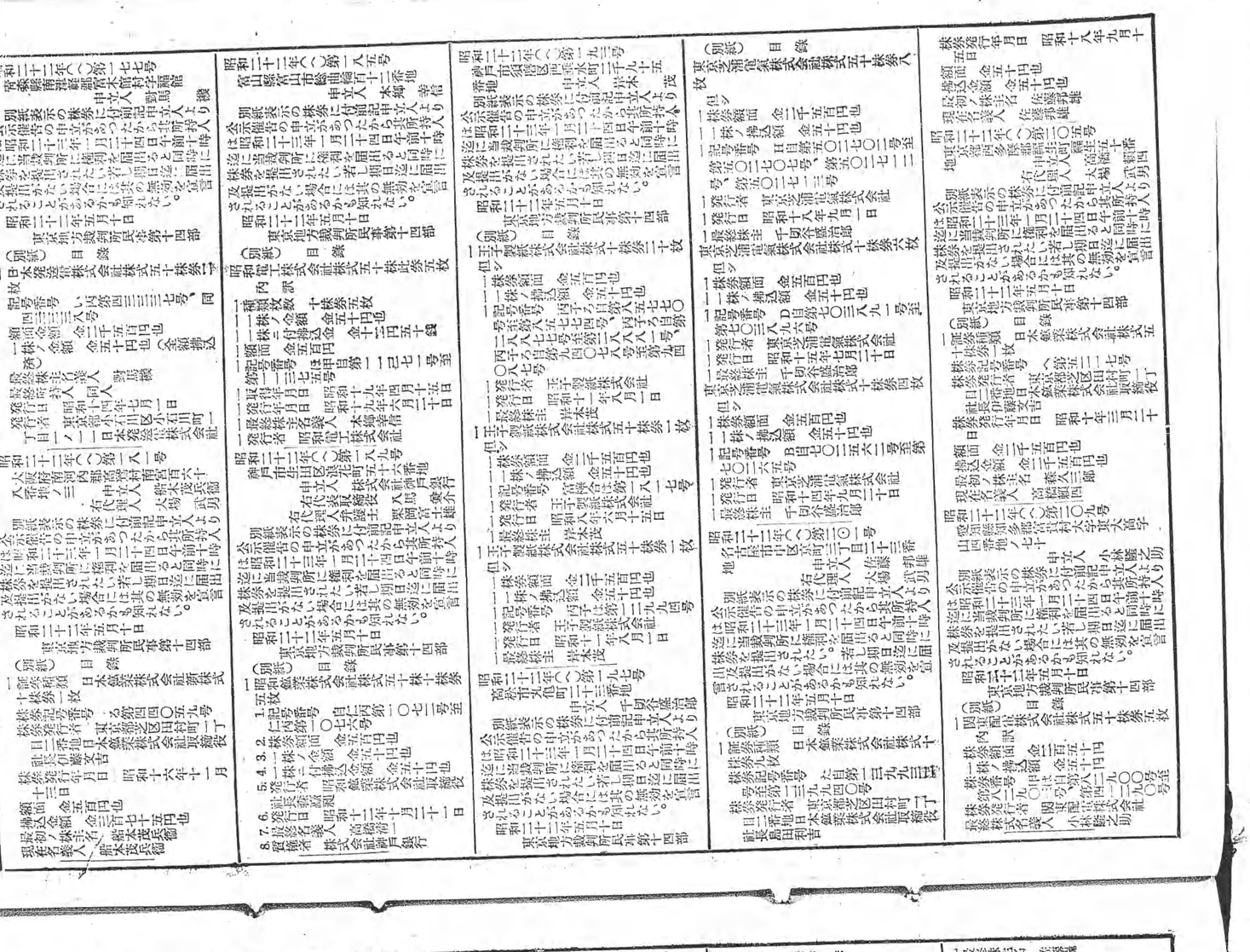
第 6172 号　本文

物価号外

官報　号外　昭和22年8月11日　月曜日

官報

第6172号　物価号外



一株ノ額面　各金五百円也
一株ノ拂込額　旧株式金五十円也、新株式金二十五円也
一記号番号　旧株式乙第七四二三号、同第七四二四号、新株式戍第七六六七九号、同第七六八〇号、同第一三八七四号、同第一三八七五号
一発行者　日清製粉株式会社取締役会長正田貞一郎
一発行日　昭和十二年七月十九日
一最終株主　野崎進

昭和二十二年(へ)第八三号
東京都目黒区中目黒三丁目千百二十三番地
申立人　野崎進
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
日魯漁業株式会社株式一百株
但シ十株券十枚
一株券額面　各金五百円也
一株ノ拂込額　金五十円也
一記号番号並ニ発行年月日　乙第〇四八四九号、乙第〇四八五〇号、乙第〇五七二九号大正十一年三月二十六日、乙第二〇九八八号昭和七年十一月二十八日、ろ第〇三〇四〇号昭和七年九月二十二日、ろ第〇三三三八号昭和八年二月一日、戍第〇九一六五号大正十四年三月五日、戍第〇七五九二号大正十一年三月二十六日、戍第〇八九五〇号大正十二年十二月十日、戍第〇九二八一号大正十五年二月十五日
一発行者　日魯漁業株式会社
一最終株主　野崎進

昭和二十二年(へ)第八四号
東京都目黒区中目黒三丁目千百二十三番地
申立人　野崎信一郎家督相続人　野崎進
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
大日本麦酒株式会社第一種株式二十株
但シ十株券二枚
一株券額面　各金五百円也
一株ノ拂込額　金五十円也
一記号番号　乙第二四二三七号、同第二四二三八号
一発行者　大日本麦酒株式会社代表取締役馬越恭平
一発行日　昭和四年十一月十五日
一最終株主　野崎信一郎
一最終所持人　野崎信一郎家督相続人野崎進

昭和二十二年(へ)第八五号
四日市市茂福浜町乙ノ千七百六十一番地
申立人　久志本久七郎
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
日本発送電株式会社株式二十株
但シ十株券二枚
一株券額面　各金五百円也
一株ノ拂込額　金五十円也
一記号番号　は乙第一九六三四四号、は乙第一九六三四五号
一発行者　日本発送電株式会社
一発行日　昭和十六年十一月三十日
一最終株主　久志本久七郎

昭和二十二年(へ)第八六号
大垣市本今町百九十八番地
申立人　臼井部
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
日本発送電株式会社株式六十株
但シ十株券六枚
一株券額面　各金五百円也
一株ノ拂込額　金五十円也
一記号番号　は乙自第九九三五九号至第九九三六四号
一発行者　日本発送電株式会社
一発行日　昭和十六年十一月三十日
一最終株主　臼井部

昭和二十二年(へ)第八七号
岐阜市本郷町四丁目四十五番地
申立人　稲葉紹瑛
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
株式会社日本勧業銀行株式十五株
但シ十株券一枚、一株券五枚
一株券額面　十株券金五百円也、一株券金五十円也
一株ノ拂込額　金五十円也
一記号番号　十株券西波号第九三六番、一株券申い号第九五四六番、同第一九五二三番、同第一四一一三番、同第一四〇五一番、同第一四一一七番
一発行者　株式会社日本勧業銀行
一発行日　西波昭和十三年五月二十八日、申い昭和十二年五月二十四日
一最終株主　稲葉紹瑛

昭和二十二年(へ)第八八号
東京都澁谷区隠田三丁目百七十八番地
申立人　松波港三郎
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
一大日本麦酒株式会社第一種株式六百株
但シ一百株券(額面金五千円也)六枚
一株ノ拂込額　金五十円也
記号番号　丙第五二四号、丙第五二五号、丙自第九九〇号至第九九三号
発行日　丙第五二四号、丙第五二五号昭和七年九月十六日、丙自第九九〇号至第九九三号大正九年八月一日
一大日本麦酒株式会社第三種株式一千六百株
但シ一百株券(額面金五千円也)一枚、五百株券(額面金二万五千円也)三枚
一株ノ拂込額　金十二円五十銭也
記号番号　一百株券丙第一八三六号、五百株券丁第八八号、丁第一〇九号、丁第一一〇号
発行日　丙第一八三六号昭和三年八月二十一日、丁第八八号、丁第一〇九号、丁第一一〇号昭和七年九月十六日
以上各株式ノ発行者　大日本麦酒株式会社代表取締役馬越恭平
最終株主　松波港三郎

昭和二十二年(へ)第八九号
八幡市門田鬼ヶ原日鉄社宅二十八号
申立人　丸岡智惠
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
第一信託株式会社株式三十六株
但シ十株券三枚、一株券六枚
一株券額面　一株ニ付金五十円也
一株ノ拂込額　金十二円五十銭也
一記号番号　十株券乙自第一六五九号至第一六六一号、一株券甲自第一一〇二号至第一一〇七号
一発行者　第一信託株式会社取締役会長尾上登太郎
一発行日　昭和五年十二月一日
一最終株主　丸岡智惠

昭和二十二年(へ)第九〇号
岐阜県岐阜市加納鉄砲町一ノ九
申立人　堀繼子
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
一富士瓦斯紡績株式会社株式十六株
但シ十株券一枚、一株券六枚
株券額面　十株券金五百円也一株券金五十円也
一株ノ拂込額　金五十円也
記号番号　十株券丙第三八九八号
一株券丁自第二〇一八九号至第二〇一九四号
一富士瓦斯紡績株式会社新株式二百株
但シ百株券二枚
株券額面　金五千円也
一株ノ拂込額　金二十五円也
記号番号　甲第一五四〇号、甲第一五四一号
以上各株式ノ発行者　富士瓦斯紡績株式会社取締役会長日比谷平左衛門
発行日　昭和十六年六月二十五日
最終株主　堀繼子

昭和二十二年(へ)第九二号
群馬県利根郡水上村湯檜曾百三十六番地
申立人　十樂寺義建
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
日本発送電株式会社株式二百株
但シ五十株券四枚
一株券額面　各金二千五百円也
一株ノ拂込額　金五十円也

一記号番号　い丙第九八六八号、同第九八九四号、同第一一三三〇号、同第二五八〇九号
一発行者　日本発送電株式会社
一発行日　昭和十四年七月一日
一最終株主　十樂寺義建

昭和二十二年(へ)第九四号
名古屋市千種区宮西町三丁目二十一番地
申立人　横井鑛
右代理人　大野重蔵
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
住友通信工業株式会社株式五十株
但シ五十株券一枚
一株券額面　金二千五百円也
一株ノ拂込額　金二十五円也
一記号番号　第三新丁第四八〇五号
一発行者　住友通信工業株式会社生産責任者社長梶井剛
一発行日　昭和十九年七月一日
一最終株主　横井鑛
昭和電工株式会社新株式五十株
但シ十株券五枚
一株券額面　各金五百円也
一株ノ拂込額　金十二円五十銭也拂込
一記号番号　ほ甲自第二六八九六号至第二六九〇〇号
一発行者　昭和電工株式会社
一発行日　昭和十九年六月二十三日
一最終株主　横井鑛

昭和二十二年(へ)第九五号
和歌山市関戸十七番地
申立人　安川愛之助
右代理人弁護士　鈴木於用
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
一北海道炭礦汽船株式会社新株式五十株券一枚
一記号番号　丙第五九一七号
一株額面　金五十円内金三十七円五十銭拂込
発行日附　昭和十四年三月十日
最終名義人　安川愛之助

昭和二十二年(へ)第九六号
福井県今立郡船津村上餅江四十五号一番地
申立人　岩曾つね
別紙表示ノ株券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且株券ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　目録
一石川島重工業株式会社株式五十株券一枚
記号番号　ほ丙種一二六四号
額面　金二千五百円也
一株ノ金額　金五十円也(全額拂込済)
発行年月日　昭和十四年九月一日
最終株主　岩曾つね
最後ノ所持人　岩曾つね

昭和二十二年(へ)第七九号
東京都北区滝野川町千六百五十三番地
申立人　帝國種苗殖産株式会社
右代表取締役　越部百四二
右代理人弁護士　吉田久
同　星野耕作
別紙表示ノ小切手ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨリ其所持人ハ昭和二十三年二月二十日午前十時迄ニ当裁判所ニ権利ヲ届出テ且小切手ヲ提出スヘシ若シ期日迄ニ届出及提出ヲ為サヾルニ於テハ其ノ無効ヲ宣言スルコトアルヘシ
昭和二十二年五月二十三日　東京簡易裁判所

(別紙)　物件目録
一小切手一通
番号　HBY八二九〇号
額面　金二万五百九十円也
支拂人　株式会社安田銀行須田町支店
振出地　東京都麹町区
支拂地　東京都神田区
振出日　昭和二十二年一月十日
振出人　東京鉄道局主任繰替拂出納官吏鉄道官補矢部耕
受取人　帝國種苗殖産株式会社越部百四三

長崎市西浜町十番地
申立人　有川正夫
別紙目録記載の株券に付最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたからその所持人は昭和二十三年五月五日午前九時の公示催告期日迄に権利の届出をなし且株券を提出しなければならない。若し右期日までに届出及提出がないときは申立によりその無効であることを宣言することがある。
昭和二十二年五月十三日　玉島簡易裁判所

(別紙)　目録
一倉敷紡績株式会社株式十株券二枚
株券額面　金五百円也
拂込金額　全額拂込済
記号及番号　里乙第三六五〇号、同第三六五一号
発行者　倉敷紡績株式会社
発行日　昭和十六年八月五日
最終株主　有川正夫

岡山県倉敷市酒津二千三百八十四番地
申立人　梶谷齊
別紙目録記載の株券に付最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたからその所持人は昭和二十三年五月五日午前九時の公示催告期日迄に権利の届出をなし且株券を提出しなければならない。若し右期日までに届出及提出がないときは申立によりその無効であることを宣言することがある。
昭和二十二年五月十三日　玉島簡易裁判所

(別紙)　目録
一倉敷絹織株式会社株式一株券四枚
額面金額　金五十円也
拂込金額　全額拂込済
記号及番号　ゐ丁(自)第二四一七号(至)第二四一九号、第一三八二号
発行者　倉敷絹織株式会社
発行日　大正十五年九月十日
最終株主　梶谷齊
一倉敷絹織株式会社新株式一株券三枚
額面金額　金五十円也
拂込金額　金三十七円五十銭也
記号及番号　ゐ丁(自)第七六二号(至)第七六四号
発行者　倉敷絹織株式会社
発行日　昭和八年十二月一日
最終株主　梶谷齊

長崎市西浜町十番地
申立人　有川吉之助
別紙目録記載の株券に付最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたからその所持人は昭和二十三年五月五日午前九時の公示催告期日迄に権利の届出をなし且株券を提出しなければならない。若し右期日までに届出及提出がないときは申立によりその無効であることを宣言することがある。
昭和二十二年五月十三日　玉島簡易裁判所

(別紙)　目録
一倉敷紡績株式会社株式十株券六枚
額面金額　金五百円也
拂込金額　全額拂込済
記号及番号　里乙第三六四七号ヨリ第三六四九号、ぬ乙第五九九一号ヨリ第五九九三号
発行者　倉敷紡績株式会社
発行日　昭和十六年八月五日
最終株主　有川吉之助

岡山県倉敷市酒津二千三百八十四番地
申立人　梶谷延
別紙目録記載の株券に付最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたからその所持人は昭和二十三年五月五日午前九時の公示催告期日迄に権利の届出をなし且株券を提出しなければならない。若し右期日までに届出及提出がないときは申立によりその無効であることを宣言することがある。
昭和二十二年五月十三日　玉島簡易裁判所

(別紙)　目録
一倉敷絹織株式会社株式一株券四枚
額面金額　金五十円也
拂込金額　全額拂込済
記号及番号　ゐ丁自第二四三四号至第二四三七号
発行者　倉敷絹織株式会社
発行日　大正十五年九月十日
最終株主　梶谷延
一倉敷絹織株式会社新株式一株券六枚
額面金額　金五十円也
拂込金額　金三十七円五十銭也
記号及番号　(イ)ゐ丁自第七六六七号至第七六六九号、(ロ)ゐ丁第一三〇八号、第七〇四二号、第七〇四三号
発行者　倉敷絹織株式会社
発行日　(イ)昭和八年十二月一日、(ロ)昭和九年三月二十四日
最終株主　梶谷延
一倉敷絹織株式会社新株式五株券一枚
額面金額　金二百五十円也
拂込金額　金十二円五十銭也
記号及番号　に丙第三四八号
発行者　倉敷絹織株式会社
発行日　昭和十一年一月一日
最終株主　梶谷延
一倉敷絹織株式会社新株式一株券一枚
額面金額　金五十円也
拂込金額　金十二円五十銭也
記号及番号　に丁第一六六九号
発行者　倉敷絹織株式会社
発行日　昭和十一年一月一日
最終株主　梶谷延

岡山市西中山下百五十四番地
申立人　尾銭二郎
別紙目録記載の株券に付最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたからその所持人は昭和二十三年五月五日午前九時の公示催告期日迄に権利の届出をなし且株券を提出しなければならない。若し右期日までに届出及提出がないときは申立によりその無効であることを宣言することがある。
昭和二十二年五月十三日　玉島簡易裁判所

(別紙)　目録
一、種類　倉敷絹織株式会社新株式十株
二、数量　一十株券一枚
三、株券額面　金五百円也
四、一株ニ付拂込金　三十七円五十銭也
五、記号、番号　ゐ乙第三二三八号
六、発行者　倉敷絹織株式会社取締役社長大原總一郎
七、発行年月日　昭和八年十二月一日
八、当初株主　岡部喜衛
九、最終株主　尾銭二郎

筑紫郡二日市町多々良製作所内中國鉱業所二日市出張所
申立人　柴田金三郎
筑紫郡二日市町大字二日市字天神町
申立代理人　大里数久夫

証書ノ重要ナル旨趣
一小切手封鎖支拂一枚
小切手ノ額面　金二百七十二円也
受取人名義　柴田金三郎
記号及番号　ハエ〇九八一三号
小切手振出人　福岡市西部復員連絡局経理部分任資金前渡官吏復員事務官野中近
発行年月日　昭和二十二年一月十六日
小切手支拂地　福岡市日本銀行福岡市内代理店
最初ノ株主　柴田金三郎
最後ノ株主　同人
所得年月日　昭和二十二年一月十六日
前記申立人ハ右ノ証券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ其ノ所持人ハ昭和二十二年九月一日午前九時迄ニ右証書ニ付当裁判所ニ権利ヲ届出且証書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ為サヽルトキハ前記株券ノ無効ヲ宣言スヘシ
昭和二十二年三月五日　福岡区裁判所
筑紫郡二日市町多々良製作所内中國残務整理部二日市出張所　申立人　姉川倍六
筑紫郡二日市町大字二日市字天神町　申立代理人　大里毅久夫

証書ノ重要ナル旨趣
一小切手封鎖支拂一枚
小切手ノ額面　金一千二百十二円也
受取名義人　姉川倍六
記号及番号　ハエ〇九八〇七号
小切手振出人　福岡市西部復員連絡局経理部分任資金前渡官吏復員事務官野中近
発行年月日　昭和二十二年一月十六日
小切手支拂地　福岡市日本銀行福岡市内代理店
最初ノ株主　姉川倍六
最後ノ株主　同人
所得年月日　昭和二十二年一月十六日
前記申立人ハ右ノ証券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ其ノ所持人ハ昭和二十二年九月一日午前九時迄ニ右証書ニ付当裁判所ニ権利ヲ届出且証書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ為サヽルトキハ前記株券ノ無効ヲ宣言スヘシ
昭和二十二年三月五日　福岡区裁判所
筑紫郡二日市町多々良製作所内中國残務整理部二日市出張所　申立人　渡辺英雄
筑紫郡二日市町大字二日市字天神町　申立代理人　大里毅久夫

証書ノ重要ナル旨趣
一小切手封鎖支拂一枚
小切手ノ額面　金三百六十四円也
受取人名義　渡辺英雄
記号及番号　ハエ〇九八〇五号
小切手振出人　福岡市西部復員連絡局経理部分任資金前渡官吏復員事務官野中近
発行年月日　昭和二十二年一月十六日
小切手支拂地　福岡市日本銀行福岡市内代理店
最初ノ株主　渡辺英雄
最後ノ株主　同人
所得年月日　昭和二十二年一月十六日
前記申立人ハ右ノ証券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ其ノ所持人ハ昭和二十二年九月一日午前九時迄ニ右証書ニ付当裁判所ニ権利ヲ届出且証書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ為サヽルトキハ前記証券ノ無効ヲ宣言スヘシ
昭和二十二年三月五日　福岡区裁判所
筑紫郡二日市町多々良製作所内中國残務整理部二日市出張所　申立人　荒木克巳
筑紫郡二日市町大字二日市字天神町　申立代理人　大里毅久夫

証書ノ重要ナル旨趣
一小切手封鎖支拂一枚
小切手ノ額面　金一千三十二円也
受取人名義　荒木克巳
記号及番号　ハエ〇九八二〇号
小切手振出人　福岡市西部復員連絡局経理部分任資金前渡官吏復員事務官野中近
発行年月日　昭和二十二年一月十六日
小切手支拂地　福岡市日本銀行福岡市内代理店
最初ノ株主　荒木克巳
最後ノ株主　同人
所得年月日　昭和二十二年一月十六日
前記申立人ハ右ノ証券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ其ノ所持人ハ昭和二十二年九月一日午前九時迄ニ右証書ニ付当裁判所ニ権利ヲ届出且証書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ為サヽルトキハ前記証券ノ無効ヲ宣言スヘシ
昭和二十二年三月五日　福岡区裁判所
筑紫郡二日市町多々良製作所内中國残務整理部二日市出張所　申立人　眞玉明
筑紫郡二日市町大字二日市字天神町　申立代理人　大里毅久夫

証書ノ重要ナル旨趣
一小切手封鎖支拂一枚
小切手ノ額面　金一百四十四円也
受取人名義　眞玉明
記号及番号　ハエ〇九八〇六号
小切手振出人　福岡市西部復員連絡局経理部分任資金前渡官吏復員事務官野中近
発行年月日　昭和二十二年一月十六日
小切手支拂地　福岡市日本銀行福岡市内代理店
最初ノ株主　眞玉明
最後ノ株主　同人
所得年月日　昭和二十二年一月十六日
前記申立人ハ右ノ証券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ其ノ所持人ハ昭和二十二年九月一日午前九時迄ニ右証書ニ付当裁判所ニ権利ヲ届出且証書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ為サヽルトキハ前記証券ノ無効ヲ宣言スヘシ
昭和二十二年三月五日　福岡区裁判所
筑紫郡二日市町多々良製作所内中國残務整理部二日市出張所　申立人　大石勇
筑紫郡二日市町大字二日市字天神町　申立代理人　大里毅久夫

証書ノ重要ナル旨趣
一小切手封鎖支拂一枚
小切手ノ額面　金六百四十四円也
受取人名義　大石勇
記号及番号　ハエ〇九八一七
小切手振出人　福岡市西部復員連絡局経理部分任資金前渡官吏復員事務官野中近
発行年月日　昭和二十二年一月十六日
小切手支拂地　福岡市日本銀行福岡市内代理店
最初ノ株主　大石勇
最後ノ株主　同人
所得年月日　昭和二十二年一月十六日
前記申立人ハ右ノ証券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ其ノ所持人ハ昭和二十二年九月一日午前九時迄ニ右証書ニ付当裁判所ニ権利ヲ届出且証書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ為サヽルトキハ前記証券ノ無効ヲ宣言スヘシ
昭和二十二年三月五日　福岡区裁判所
筑紫郡二日市町多々良製作所内中國残務整理部二日市出張所　申立人　高山榮
筑紫郡二日市町大字二日市字天神町　申立代理人　大里毅久夫

証書ノ重要ナル旨趣
一小切手封鎖支拂一枚
小切手ノ額面　金六百十六円也
受取人名義　高山榮
記号及番号　ハエ〇九八〇九号
小切手振出人　福岡市西部復員連絡局経理部分任資金前渡官吏復員事務官野中近
発行年月日　昭和二十二年一月十六日
小切手支拂地　福岡市日本銀行福岡市内代理店
最初ノ株主　高山榮
最後ノ株主　同人
所得年月日　昭和二十二年一月十六日
前記申立人ハ右ノ証券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ其ノ所持人ハ昭和二十二年九月一日午前九時迄ニ右証書ニ付当裁判所ニ権利ヲ届出且証書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ為サヽルトキハ前記証券ノ無効ヲ宣言スヘシ
昭和二十二年三月五日　福岡区裁判所
筑紫郡二日市町多々良製作所内中國残務整理部二日市出張所　申立人　白倉國人
筑紫郡二日市町大字二日市字天神町　申立代理人　大里毅久夫

証書ノ重要ナル旨趣
一小切手封鎖支拂一枚
小切手ノ額面　金二百七十二円也
受取人名義　白倉國人
記号及番号　ハエ〇九八〇四号
小切手振出人　福岡市西部復員連絡局経理部分任資金前渡官吏復員事務官野中近
発行年月日　昭和二十二年一月十六日
小切手支拂地　福岡市日本銀行福岡市内代理店
最初ノ株主　白倉國人
最後ノ株主　同人
所得年月日　昭和二十二年一月十六日
前記申立人ハ右ノ証券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ其ノ所持人ハ昭和二十二年九月一日午前九時迄ニ右証書ニ付当裁判所ニ権利ヲ届出且証書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ届出及提出ヲ為サヽルトキハ前記証券ノ無効ヲ宣言スヘシ
昭和二十二年三月五日　福岡区裁判所

◉除権判決

三重縣四日市市塩浜区松泉町二五、二号　申立人　佐伯義雄
別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから、当裁判所は昭和二十一年八月二十日公示催告を為したにも不拘昭和二十二年三月二十四日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に依つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一中部配電株式会社株式十株券十三枚
一株券額面　金五百円也
一拂込額　金五百円也
一記号番号　い乙自一一八八六〇号至一一八八七一号十二枚、い乙第二四一八七号一枚
一発行者　名古屋市中区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社社長海東要造
一最終ノ株式名義人　佐伯義雄
一中部配電株式会社株式一株券二枚
一株券額面　金五十円也

一拂込額　金五十円也
一記号番号　い甲第一七二〇三二号、第一二〇三三号二枚
一発行者　名古屋市中区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社社長海東要造
一最終ノ株式名義人　佐伯義雄

岐阜縣岐阜市長良鵜町　申立人　玉井たつ
別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年九月二十日公示催告を為したにも不拘昭和二十二年四月二十一日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一中部配電株式会社株式五十株券一枚
一株券額面　二千五百円也
一拂込額　金二千五百円也
一記号及番号　い丙第八五七三号一枚
一同会社株式十株券一枚
一株券額面　金五百円也
一拂込額　金五百円也
一記号及番号　い乙第八一七七六、一枚
以上何れも発行者　名古屋市中区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社社長海東要造
一最終ノ株式名義人　玉井はつ

愛知縣岡崎市中町字瓦屋敷二十七番地　申立人　豊田つい
別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年八月二十四日公示催告を為したにも不拘昭和二十二年四月十六日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一中部配電株式会社株式十株
一株ノ金額　金五十円
株券ノ記号番号　い乙第五六八四二号
株券ノ額面　金五百円
一株ノ拂込額　金五十円
発行者　名古屋市栄区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社
最終株式名義人　豊田つい
一中部配電株式会社株式二株
一株ノ金額　金五十円
株券ノ記号番号　い甲第一〇三三四〇号、い甲第一〇三三四一号
株券ノ額面　各金五十円
一株ノ拂込額　金五十円
発行者　名古屋市栄区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社
最終株式名義人　豊田つい

愛知縣中島郡祖父江町大字森上　申立人　稲垣捨重
別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年六月十五日公示催告を為したるにも不拘昭和二十二年二月二十一日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一愛知縣地方木材株式会社株式一株券四枚、十株券十枚
内訳
株券番号　自甲い第五〇八号至第五一一号一株券四枚、自甲ろ第七〇四号至第七一三号十株券十枚
額面　金五千二百円（一株券ノ額面五十円宛、十株券ノ額面五百円宛ノ合計）
一株ニ付　金五十円宛拂込済
株券発行者　愛知縣地方木材株式会社取締役社長加藤周太郎
株券発行年月日　昭和十九年三月二十日
株主　稲垣捨重

東京都京橋区月島西仲通九丁目百十番地松本修二方　申立人　澁谷今助
別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年六月十八日公示催告を為したにも不拘昭和二十二年二月二十一日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一中部配電株式会社発行株式十株券七枚
記号番号　自い乙第一四九九九一号至同第一四九九九七号
額面　金五百円
拂込金額　全額
最終株主名義人　澁谷今助

岐阜縣岐阜市伊吹町一丁目九番地　申立人　棚橋繁雄
棚橋えつ家督相続人
別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年九月二十日公示催告を為したにも不拘昭和二十二年四月十八日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一株式会社東海銀行株式百九十株
株券一枚ノ額面　金五百円也
全額拂込済一株ニ付金五十円也
但シ十株券十九枚此ノ記号番号甲ろ自第九五九三号至九六一一号
一株式会社東海銀行第二新株式三十株
株券一枚ノ額面金　五百円也一株ニ付五十円也
株券一枚ノ拂込金額　金二百五十円也一株ニ付金二十五円也
但シ十株券三枚此ノ記号番号丙ろ自四三九号至四四一号
発行年月日　昭和十六年十二月一日
発行者　名古屋市中区御幸本町通八丁目十八番地株式会社東海銀行取締役会長渡辺義郎取締役頭取井倉和雄
最終株主　棚橋えつ
（別紙）目録
一中部配電株式会社株式十株券九枚
一株券額面　金五百円也
一拂込金額　金五百円也
一記号番号　い乙自第八一六七二号至第八一六八〇号九枚
一発行者　名古屋市中区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社社長海東要造
一最終ノ株式名義人　棚橋えつ
一同上会社株式一株券六枚
一株券額面　金五十円也
一拂込金額　金五十円也
一記号番号　い甲自第一五三二八八至第一五三二九三号六枚
一発行者　前同
一最終株式名義人　前同

名古屋市瑞穂区大喜町三丁目四十八番地　申立人　寺西とく
別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年八月二十四日公示催告を為したにも不拘昭和二十二年四月十一日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一東邦瓦斯株式会社株式十株券四枚
額面　金五百円
一株ノ拂込金額　金五十円
記号番号　[illegible]
発行者　東邦瓦斯株式会社
最終株主名義人　寺西とく

三重縣鈴鹿市平田町大池住宅八号　申立人　勝田年惠
別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年九月二十日公示催告を為したにも不拘昭和二十二年四月十八日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一証券ノ種類　中部配電株式会社株式十株券一枚
一証券記号番号　い乙第七二六六八号
一株券額面　金五百円
一拂込額　金五百円
一発行人　名古屋市中区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社社長海東要造
一最終株式ノ名義人　勝田年惠

愛知縣岡崎市中町六丁目四番地　申立人　星野森
別紙目録記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年九月二十日公示催告を為したにも不拘昭和二十二年四月十八日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一中部配電株式会社株式二十株
一株ノ金額　金五十円
額面金額　金五百円
拂込金額　一株ニ付金五十円
記号番号　い乙自第五五六二五号至第五五六二六号
発行者　名古屋市中区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社社長海東要造
最初ノ株式名義人及所持人　星野森

岡崎市村木町百六十番地　申立人　鈴木鋼次郎
別紙目録記載の株券について最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年八月二十日公示催告を為したにも不拘昭和二十二年四月九日午前十時公示催告期日迄に権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目録記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日　名古屋区裁判所
（別紙）目録
一株式会社東海銀行第一新株式三十株
額面金額　金五百円
一株ノ金額　金五十円
拂込金額　一株ニ付金三十円
記号番号　乙ろ自第九六一九号至第九六二一号三枚

(別紙) 目録
愛知縣地方木材株式会社株式[illegible]株券四[illegible]枚、十株券四枚、百株券二枚
但シ
一 記号番号 一株券甲ぬ第自三九六七至三九七〇号、十株券甲ろ第自三九六七至三九六八号、百株券甲よ第自六九二至六九三号
一 株券額面 一株券五十円、十株券五百円、百株券五千円
一 一株ノ拂込金額 金五十円也
一 株券発行年月日 昭和十九年三月三十日
一 発行者 名古屋市中川区西古渡町一丁目二十六番地愛知縣地方木材株式会社社長加藤周太郎
一 最終株主 安井健壽
名古屋市瑞穂区櫻見町二丁目九番地
申立人 日比野淸
加藤淸こと
別紙目錄記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年九月二十日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年四月二十五日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目錄記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日
名古屋区裁判所

(別紙) 目録
中部配電株式会社株式五十株券四枚
但シ
一 株券額面 金二千五百円也
一 一株拂込額 金五十円也
一 記号番号 い丙自第七九六二号至第七九六五号
一 発行者 名古屋市中区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社社長海東要造
一 発行日
一 最終株主 加藤淸こと日比野淸
奈良縣磯城郡櫻井町櫻井九三ノ二
申立人 野口駿一
別紙目錄記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年九月二十日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年四月二十五日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目錄記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日
名古屋区裁判所

(別紙) 目録
中部配電株式会社株式十枚
内訳
一 十株券(額面金五百円也)全額拂込済
一 記号及番号 い乙自第九五一一二号至第九五一一五号(四枚)
一 株券額(面金五十円也)全額拂込済
一 記号及番号 い甲自第一二〇二二号至第一二〇二七号(六枚)
一 発行者 名古屋市中区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社社長海東要造
一 最後ノ株式名義人 野口駿一
名古屋市東区水筒先町三丁目三十番地
申立人 田内志やう
右申立代理人 服部經次
別紙目錄記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年八月二十四日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年四月十六日午前十時公示催告期日迄に該権利の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目錄記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日
名古屋区裁判所

(別紙) 目録
中部配電株式会社株式一株券十枚
一 額面金額 金五十円也
一 拂込金額 金五十円也
一 記号番号 い甲自一一二七四一号至一一二七四四号四枚、い甲自一一六六六四号至一一六六六九号六枚
一 発行者 名古屋市栄区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社取締役社長海東要造
一 最終株主名義人 田内志やう
一 中部配電株式会社株式十株券十枚
一 額面金額 金五百円也
一 拂込金額 金五百円也
一 記号及番号 い乙自七八八六六号至七八八七五号十枚
一 発行者 名古屋市栄区南大津通二丁目五番地中部配電株式会社取締役社長海東要造
一 最終株主名義人 田内志やう
名古屋鉄道株式会社株式旧株十株券一枚新株十株券一枚
一 額面金額 金五百円也
一 拂込金額 旧株式一株ニ付五十円、新株式一株ニ付二十五円
一 記号及番号 旧株式丙は第二四四三号、新株式新は第四〇九〇〇号
一 発行者 名古屋鉄道株式会社取締役社長蘆川淸成
一 発行年月日 旧株式昭和十年十一月一日、新株式昭和十三年四月十五日
一 最終所持者 田内志やう
愛知縣海部郡佐屋村字佐屋北一色鈴木達道郎方
申立人 高松亥太郎
別紙目錄記載の株券に付いて最終の所持人である右申立人より公示催告の申立があつたから当裁判所は昭和二十一年六月十八日公示催告を爲したにも不拘昭和二十二年二月二十四日午前十時公示催告期日迄に該株券の届出及び該株券の提出がないので右申立人の申立に因つて左の如く判決する。
別紙目錄記載の株券の無効なることを宣言する。
昭和二十二年五月一日
名古屋区裁判所

(別紙) 目録
中部電氣實業株式会社株式四十株十株券四通
内訳
一 株券番号 甲第〇一四号、甲第〇一五号、甲第〇四六号、甲第〇四七号
一 株券発行者 中部配電實業株式会社
一 株券発行地 名古屋市
一 株券額面 金二千円
一 一株ノ金額 金五十円
一 株券発行年月日 昭和六年十一月一日
一 名義人 高松亥太郎
岐阜縣可兒郡今渡町下惠土二千九百八十七番地
申立人 藤田與曾春
別紙目錄表示の株券に付申立人の申立により公示催告を爲したところ昭和二十二年四月三十日午前九時迄に権利の届出及び右株券の提出を爲す者がないので申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年四月三十日
御嵩区裁判所

(別紙) 目録
一、名称東濃貨物運輸株式会社十株券二通
一 株券額面 金五百円
一 一株の拂込金額 金五十円
一 記号番号 乙第六六四号、同第六六五号
一 発行者 東濃貨物運輸株式会社取締役社長林節治
一 最終株式名義人 藤田與曾春
二、名称東濃貨物運輸株式会社株式一株券一通
一 株券額面金 五十円
一 一株の拂込金額 金五十円
一 記号番号 丁第五八一号
一 発行者及最終株式名義人 右一に同じ
石川縣江沼郡山中町八ノ三十番地
申立人 八木市松
右代理人 松浦節夫
右申立人から別紙目錄表示の株券について公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲したところ昭和二十二年四月三十日午前十時の期日までに権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから申立人の申立に基ずいて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年四月三十日
金沢区裁判所

(別紙) 株券目録
旧温泉電軌株式会社株券四枚此株式数四株
一 記号番号 に自七一二至七一五号
一 株券額面 金五十円
一 一株ノ拂込額 金五十円
一 発行年月日 大正二年十一月十五日
一 発行者 温泉電軌株式会社取締役社長横山章
一 最終ノ株式名義人 八木市松
石川縣江沼郡山中町八ノ二五番地
申立人 松浦重藏
右代理人 松浦節夫
右申立人から別紙目錄表示の株券について公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲したところ昭和二十二年四月三十日午前十時の期日までに権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから申立人の申立に基ずいて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年四月三十日
金沢区裁判所

(別紙) 株券目錄
旧温泉電軌株式会社株券四枚此株式数二十株
一 記号番号 は自五九八号至六〇一号
一 株券額面 金二百五十円
一 一株ノ拂込額 金五十円
一 発行年月日 大正二年十一月十五日
一 発行者 温泉電軌株式会社取締役社長横山章
一 最終ノ株式名義人 松浦重藏
富山市衣服町四番地
申立人 永森菊次郎
右親権者母 永森ゑき
右申立人から別紙目錄表示の株券について公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲したところ昭和二十二年四月二十六日午前十時の期日までに権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから申立人の申立に基ずいて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年四月二十六日
金沢区裁判所

(別紙) 目録
北陸鉄道株式会社株式四十一株十株券四枚、一株券一枚
一 株券額面 十株券五百円也、一株券五十円也
一 一株の拂込金額 四十円也
一 記号番号 十株券は乙自第八八七号至第八九〇号、一株券い乙第五四〇六号
一 発行年月日 昭和十八年十月十三日
一 発行者 北陸鉄道株式会社取締役社長林屋亀次郎
一 最終株式名義人 永森菊次郎
富山市舟橋今町三四
申立人 吉川良平
右代理人 吉川章
右申立人から別紙目錄表示の株券について公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲したところ昭和二十二年五月二日午前十時の期日までに権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから申立人の申立に基ずいて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月二日
金沢区裁判所

(別紙) 目録
北陸鉄道株式会社株式六十株此の券二枚

内訳
一 五十株券 一枚
額面金額 金二千五百円也
記号番号 に乙第六二号
一 十株券 一枚
額面金額 金五百円也
記号番号 は乙第五四七号
一 一株の拂込金額 金四十円也
一 発行年月日 昭和十八年十月十三日
一 発行者 金沢市上胡桃町五十二番地北陸鉄道株式会社取締役社長林屋亀次郎
一 株式名義人 吉川良平
一 最終所持人 同人
千葉縣千葉郡白井村中野九〇〇
今井健之助遺産相続人
申立人 今井千之吉
同 今井さく
右両名代理人 北島芳郎
右申立人から、別紙目錄表示の株券について、公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲したところ、昭和二十二年五月二日午前十時の期日までに権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから、申立人の申立に基ずいて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月二日
金沢区裁判所

(別紙) 目録
株式会社小松製作所新株式五十株券一枚
但
一 株券額面 金二千五百円也
一 拂込金額 一株ニ付金二十五円也
一 記号番号 保丙第六二〇四号
一 発行者 小松市八日市町地方五番地株式会社小松製作所取締役社長中村税
一 当初株主 住友生命保険株式会社
一 最終株主 今井健之助
一 最終所持人 今井千之吉、今井さく
石川縣江沼郡月津村字矢田イ二十八番地
申立人 西田庄太郎
右代理人弁護士 塚本助次郎
右申立人から別紙目錄表示の株券について、公示催告の申立があつたので金沢区裁判所は公示催告を爲したところ、昭和二十二年五月六日午前十時の期日までに、権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから、申立人の申立に基ずいて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
金沢地方裁判所

(別紙) 目録
北陸鉄道株式会社株券一枚此株数十株
但株券額面 五百円也
一株ノ拂込金額 五十円也
記号番号 は甲九八号
発行年月日 昭和十八年十月十三日
発行者 北陸鉄道株式会社取締役林屋亀次郎
最終株主 西田庄太郎
小松市栗津町ワ二十六番地
申立人 新井寛次
右申立人から、別紙目錄表示の株券について、公示催告の申立があつたので金沢区裁判所は公示催告を爲したところ、昭和二十二年五月六日午前十時の期日までに、権利を届出でかつ右株券を提出する者がなかつたから、申立人の申立に基ずいて右株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
金沢地方裁判所

(別紙) 株券目録
旧温泉電軌株式会社株券三枚此株式数三株
一 記号番号 に自一六二号至一六四号
一 株券額面 金五十円
一 一株ノ拂込額 金五十円
一 発行年月日 大正二年十一月十五日
一 発行者 温泉電軌株式会社取締役社長横山章
一 最終ノ株式名義人 藤井寛次
福岡縣三瀦郡大川町千九百二十三番地
申立人 角本彌市
左記表示の株券に付て申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
廣島地方裁判所

一 中國配電株式会社株券五十株券三枚
株券番号 丁第八九一号、丁第一八六四四号、丁第二四一〇八号
一 額面 金二千五百円
一 株金額 金五十円
商号 中國配電株式会社
発行年月日 昭和十七年八月一日
発行者 中國配電株式会社社長鈴川貫一
最終株主 角本彌市
最終所持人 角本彌市
廣島縣佐伯郡廿日市町魚ノ棚二百三十八番地
申立人 井前照利
左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
廣島地方裁判所

一 廣島縣地方木材株式会社株券五十株券一枚
株券番号 法丁第九号
額面 金二千五百円
一株金額 金五十円
商号 廣島縣地方木材株式会社
発行年月日 昭和十九年十月一日
発行者 廣島縣地方木材株式会社社長田中好一
最終株主 二六木材商行代表社員井前重一
最終所持人 井前照利
廣島市土手町二十一番地
申立人 坂本ノブ
左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
廣島地方裁判所

一 中國配電株式会社株券十株券十枚
株券番号 自丙第六三六八二号至丙第六三六九一号
一 額面 金五百円
一 株金額 金五十円
商号 中國配電株式会社
発行年月日 昭和十七年八月一日
発行者 中國配電株式会社社長鈴川貫一
最終株主 坂本ノブ
最終所持人 坂本ノブ
大阪府泉南郡佐野町四千八百九十五番地
申立人 向井七五三譯計
左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
廣島地方裁判所

一 東洋工業株式会社株券五十株券一枚
株券番号 を第三六二〇号
額面 金二千五百円(全額拂込済)
一株金額 金五十円
商号 東洋工業株式会社
発行年月日 昭和十八年四月十日
発行者 東洋工業株式会社取締役社長松田重次郎
最終株主 向井七五三譯計
最終所持人 向井七五三譯計
大阪府豊能郡箕面村大字平尾
申立人 岸本正淸
右申立代理人 當代峯一
左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
廣島地方裁判所

一 東洋工業株式会社株券五十株券一枚
株券番号 を第二[illegible]六一号
額面 金二千五百円(全額拂込済)
一株金額 金五十円
商号 東洋工業株式会社
発行年月日 昭和十八年四月十日
発行者 東洋工業株式会社取締役社長松田重次郎
最終株主並最終所持人 岸本正淸
大阪市阿倍野区相生通三丁目九番地
申立人 小畑修
右申立代理人 當代峯一
左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
廣島地方裁判所

一 東洋工業株式会社株券十株券三枚
株券番号 (イ)り第三〇三九号、(ロ)わ第二[illegible]二五号、
額面 金五百円(全額拂込済)
一株金額 金五十円
商号 東洋工業株式会社
発行年月日 (イ)昭和十二年五月一日、(ロ)昭和十八年四月十日
発行者 東洋工業株式会社取締役社長松田重次郎
最終株主 小畑修
最終所持人 小畑修
廣島市江波本町四百八十四番地ノ一
申立人 久保田清子
左記表示の証券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び証券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記証券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
廣島地方裁判所

一 小切手一通
小切手番号 第一二一五号
額面 金六千一百円
振出年月日 昭和二十年九月六日
振出人 帝國銀行釜山支店
受取人 久保田清子
支拂銀行 帝國銀行廣島支店
最終所持人 久保田清子
廣島市段原東浦町七八六番地
申立人 田中豊
左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を爲した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。
昭和二十二年五月六日
廣島地方裁判所

一 中國配電株式会社株券(イ)一株券四枚(ロ)五株券一枚(ハ)十株券二枚
株券番号 (イ)甲第四三五一七号、自甲第四九五一五号至甲第四九五一七号、(ロ)[illegible]、(ハ)丙第[illegible]号、丙第[illegible]号
額面 (イ)金五十円(ロ)金二百五十円(ハ)金五百円
一株金額 金五十円
商号 中國配電株式会社
発行年月日 昭和十七年八月一日
発行者 中國配電株式会社社長鈴川貫一
最終株主 田中豊
最終所持人 田中豊

岡山市上出町一　申立人　世良田誠次

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月六日　廣島地方裁判所

一中國配電株式会社株券(イ)五株券一枚(ロ)一株券二枚
株券番号　(イ)乙第七二九九号(ロ)甲第二九〇六九号、甲第二九〇七〇号
額面　(イ)金二百五十円(ロ)金五十円
一株金額　金五十円
商号　中國配電株式会社
発行年月日　昭和十七年八月一日
発行者　中國配電株式会社社長鈴川貫一
最終株主　世良田誠次
最終所持人　世良田誠次

廣島市段原山崎町三百二番地ノ十　申立人　梶本アイ　右申立代理人　高橋勝二

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月六日　廣島地方裁判所

一中國配電株式会社株券五十株券一枚
株券番号　丁第二四三一八号
額面　金二千五百円
一株金額　金五十円
商号　中國配電株式会社
発行年月日　昭和十七年八月一日
発行者　中國配電株式会社社長鈴川貫一
最終株主　梶本アイ
最終所持人　梶本アイ

廣島縣安佐郡三入村字南原四百二十一番地ノ一　申立人　松本重五郎

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月六日　廣島地方裁判所

一廣島縣地方木材株式会社株券十株券三枚
株券番号　自ね丙第三七〇号至ね丙第三七二号
額面　金五百円
一株金額　金五十円
商号　廣島縣地方木材株式会社
発行年月日　昭和十九年十月一日
発行者　廣島縣地方木材株式会社社長田中好一
最終株主　松本重五郎
最終所持人　松本重五郎

廣島市白島西中町六十七番地ノ二　申立人　桑田あい

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月六日　廣島地方裁判所

一廣島瓦斯株式会社株券十株券一枚
株券番号　い乙第三七七一号
額面　金五百円
一株金額　金五十円
商号　廣島瓦斯株式会社
発行年月日　昭和十五年十月一日
発行者　廣島瓦斯株式会社取締役社長山口吾一
最終株主　桑田あい
最終所持人　桑田あい

岡山市上伊福清心町二百六十番地　申立人　泉谷花子　右申立代理人　苗代峯一

左記表示の株券に付いて申立人から公示催告の申立があつたので当裁判所は公示催告を為した処昭和二十二年五月六日午前九時迄に権利の届出で及び株券を提出する者がないので申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月六日　廣島地方裁判所

一東洋工業株式会社株券十株券五枚
株券番号　自わ第九五〇四号至わ第九五〇八号
額面　金五百円(全額払込済)
一株金額　金五十円
商号　東洋工業株式会社
発行年月日　昭和十八年四月十日
発行者　東洋工業株式会社取締役社長松田重次郎
最終株主　泉谷花子
最終所持人　泉谷花子

松山市水柳井町三四番地　申立人　浅井周治　同　浅井トミヨ
同所

左記表示ノ株券ニ付前記申立人ノ申立ニ基キ当裁判所ハ公示催告ヲ為シタル処其ノ期日タル昭和二十二年四月三十日午前九時迄ニ権利ヲ届出且株券ヲ提出スルモノナキヲ以テ左記表示ノ株券ノ無効ヲ宣言スル

昭和二十二年四月三十日　松山区裁判所

伊予鉄道株式会社株券五株券二枚一株ノ金額五十円全額払込済
一額面　金二百五十円
一記号番号　い乙第一四四一号
一株券発行者　伊予鉄道株式会社
一同発行年月日　昭和十七年六月一日
一最終株主同所持人　浅井トミヨ

伊予鉄道株式会社株券一株券一枚一株ノ金額五十円全額払込済
一記号番号　い甲第八一二六号
一株券発行者　伊予鉄道株式会社
一同発行年月日　昭和十七年六月一日
一最終株主同所持人　浅井周治

四國配電株式会社株券一株券七枚一株ノ金額五十円全額払込済
一額面　金三百五十円
一記号番号　い甲自第三一七〇九号い甲至第三一七一五号
一株券発行者　四國配電株式会社
一同発行年月日　昭和十七年八月一日
一最終株主同所持人　浅井周治

株式会社伊予合同銀行株券旧株五株券一枚十株券四枚一株ノ金額五十円全額払込済
一額面　金二千二百五十円
一記号番号　い乙第四一五号、い丙自第一二〇二号い丙至第一二〇五号
一株券発行者　株式会社伊予合同銀行
一同発行年月日　昭和十六年十一月一日
一最終株主同所持人　浅井周治

松山市唐人町二丁目二八　申立人　石井幸三郎

左記表示ノ社債券ニ付前記申立人ノ申立ニ基キ当裁判所ハ公示催告ヲ為シタル処其ノ期日タル昭和二十二年四月三十日午前九時迄ニ権利ヲ届出且社債券ヲ提出スルモノナキヲ以テ左記表示ノ社債券ノ無効ヲ宣言ス

昭和二十二年四月三十日　松山区裁判所

政府保証四國配電株式会社第一回社債券四枚
一額面　金百円(四枚)
一記号番号　乙自第一五三二号乙至第一五三五号
一発行者　四國配電株式会社
一同発行年月日　昭和十八年五月二十日
一最終ノ所持人　石井幸三郎

長崎市城山町北一條四十七番地　申立人　千原英一郎

右申立人の申立に因り別紙表示の証書に付て公示催告を為したところ昭和二十二年四月二十三日午前九時の期日迄に権利を届出で且其の株券の提出をした者がないので申立人の申立に基いて別紙証書の無効を宣言する。

昭和二十二年四月二十三日　長崎区裁判所　判事　吉本仲蔵

(別紙)　目録
一長崎電氣軌道株式会社　五十株券一枚、十株券十五枚
記号　五十株券ち第一一一五号
十株券自ほ第一一三四号至ほ第一一三八号、自ほ第七九二号至ほ第七九五号、自い第五四五号至い第七〇四号
株券の額面額　金二千五百円也(五十株券)　五百円也(十株券)
一株の払込金額　五十円
株券の発行者　長崎市出来大工町四十三番地長崎電氣軌道株式会社取締役脇山勘助
株券発行年月日　ち第一一一五号大正九年九月一日、い第五四四号、い第五四五号、自い第七〇四号至い第七〇六号、い第七三八号大正三年十月四日、自ほ第一一三四号至ほ第一一三八号、自ほ第七九二号至ほ第七九五号大正七年六月十七日
株主名義人　千原永芳

佐世保市戸尾町八十七番地　合資会社川副商会　右代表社員　川副正己

右申立人の申立に因り別紙表示の証書に付て公示催告を為したところ昭和二十二年四月二十三日午前九時の期日迄に権利を届出で且其の株券の提出をした者がないので申立人の申立に基いて別紙証書の無効を宣言する。

昭和二十二年四月二十三日　長崎区裁判所　判事　吉本仲蔵

(別紙)　目録
一長崎電氣軌道株式会社十株券二枚
記号　か第八九号、か第九〇号
株券の額面額　金五百円
一株の払込金額　五十円
株券の発行者　長崎市出来大工町四十三番地長崎電氣軌道株式会社取締役脇山勘助
株券発行年月日　昭和十一年五月五日
株主名義人　合資会社川副商会代表社員川副正己

長崎縣諫早市永昌町九十七番地　山中方　申立人　林要一郎

右申立人の申立に因り別紙表示の証書に付て公示催告を為したところ昭和二十二年四月二十三日午前九時の期日迄に権利を届出で且其の株券の提出をした者がないので申立人の申立に基いて別紙証書の無効を宣言する。

昭和二十二年四月二十三日　長崎区裁判所　判事　吉本仲蔵

(別紙)　目録
一長崎電氣軌道株式会社一株券八枚
記号　自を第三二号至を第三九号
株券の額面額　金五十円
一株の払込金額　五十円
株券の発行者　長崎市出来大工町四十三番地長崎電氣軌道株式会社取締役脇山勘助
株券発行年月日　昭和十一年五月五日
株主名義人　林國太郎

諫早市長田町百五十三番地　申立人　木下米一　右代理人　島田勇

別紙目録記載ノ証書ニ付右申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニ依リ当裁判所ハ昭和二十一年十月三日公示催告ヲ為シタル処昭和二十二年四月二十八日午前九時ノ公示催告期日迄ニ権利ノ届出及該証書ノ提出ナキヲ以テ右申立人ノ申立ニ依リ判決スルコト左ノ如シ

別紙目録記載証書ノ無効タルコトヲ宣言ス

昭和二十二年五月八日　長崎地方裁判所島原支部　判事　藤木信篤

目録
一島原鉄道株式会社株券一株券三枚、一額面一株ニ付金五十円也、一株ニ付払込金二十円也、一記号番号第一新株甲自第九二〇号至第九二二号、一発行者島原鉄道株式会社取締役社長植木元太郎、一発行日大正八年十二月十一日、一最終株主木下米一

長崎縣北高来郡森山村二八〇八番地　申立人　早田発三　右代理人　島田勇

別紙目録記載ノ証書ニ付右申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ当裁判所ハ昭和二十一年十月三日公示催告ヲ為シタル処昭和二十二年四月二十八日午前九時ノ公示催告期日迄ニ権利ノ届出及該証書ノ提出ナキヲ以テ右申立人ノ申立ニ依リ判決スルコト左ノ如シ

別紙目録記載証書ノ無効タルコトヲ宣言ス

昭和二十二年五月八日　長崎地方裁判所島原支部　判事　藤木信篤

目録
一島原鉄道株式会社株券一株券二枚、一額面一株ニ付金五十円也、一株ニ付払込金五十円也、一記号番号後甲第六一二二号、後甲第六一二三号、一発行者島原鉄道株式会社取締役社長松尾貞明、一発行日昭和十八年十一月十五日、一最終株主早田発三

川崎市等々力三〇〇〇番地　申立人　有馬茂　右代理人　島田勇

別紙目録記載ノ証書ニ付右申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ為シタルニ因リ当裁判所ハ昭和二十一年十月三日公示催告ヲ為シタル処昭和二十二年四月二十八日午前九時ノ公示催告期日迄ニ権利ノ届出及該証書ノ提出ナキヲ以テ右申立人ノ申立ニ因リ判決スルコト左ノ如シ

別紙目録記載証書ノ無効タルコトヲ宣言ス

昭和二十二年五月八日　長崎地方裁判所島原支部　判事　藤木信篤

目録
一日之津鉄道株式会社株券一株券一枚、一額面金五十円也、一株ニ付払込金二十円也、一記号番号甲自第三二二号、一発行者日之津鉄道株式会社取締役社長植木元太郎、一発行日大正十二年十二月八日、一最終株主有馬茂

長崎市三ツ山町千四百十五番地　川原吉松

右申立人の申立に因り別紙表示の証書に付て公示催告を為したところ昭和二十二年四月二十三日午前九時の期日迄に権利を届出て且其の株券の提出をした者がないので申立人の申立に基いて別紙証書の無効を宣言する。

昭和二十二年四月二十三日　長崎区裁判所　判事　吉本仲蔵

(別紙)　目録
一長崎電氣軌道株式会社十株券二枚
記号　(り)第五三号(り)第八九五号
株券の額面額　金五百円
一株の払込金額　五十円
株券の発行者　長崎市出来大工町四十三番地長崎電氣軌道株式会社取締役脇山勘助
株券発行年月日　大正九年九月一日
株主名義人　川原フク

長崎市城山町一丁目三百九十三番地　永田珊一郎

右申立人の申立に因り別紙表示の証書に付て公示催告を為したところ昭和二十二年四月二十三日午前九時の期日迄に権利を届出て且其の株券の提出をした者がないので申立人の申立に基いて別紙証書の無効を宣告する。

昭和二十二年四月二十三日　長崎区裁判所　判事　吉本仲蔵

(別紙)　目録
一長崎電氣軌道株式会社一株券十二枚
記号番号　自を第一七一至を第一八二号
株券の額面額　金五十円
株券の払込金額　五十円
株券の発行者　長崎市出来大工町四十三番地長崎電氣軌道株式会社取締役社長脇山勘助
株券発行年月日　昭和十一年五月五日
株主名義人　永田仁四郎

長崎市桃島町七十七番地　林繁治

右申立人の申立に因り別紙表示の証書に付て公示催告を為したところ昭和二十二年四月二十三日午前九時の期日迄に権利を届出て且その株券の提出をした者がないので申立人の申立に基いて別紙証書の無効を宣言する。

昭和二十二年四月二十三日　長崎区裁判所　判事　吉本仲蔵

(別紙)　目録
一長崎電氣軌道株式会社五株券一枚
記号　わ第一〇号
株券の額面額　金二百五十円
一株の払込金額　五十円
株券の発行者　長崎市出来大工町四十三番地長崎電氣軌道株式会社取締役脇山勘助
株券発行年月日　昭和十一年五月五日
株主名義人　林市太郎

長崎市下西山町十一番地　雨森二郎

右申立人の申立に因り別紙表示の証書に付て公示催告を為したところ昭和二十二年四月二十三日午前九時の期日迄に権利を届出て且其の株券の提出をした者がないので申立人の申立に基いて別紙証書の無効を宣言する。

昭和二十二年四月二十三日　長崎区裁判所　判事　吉本仲蔵

(別紙)　目録
一長崎電氣軌道株式会社一株券二枚
記号を第二九三号を第二九四号
株券額面額　金五十円
一株の払込金額　五十円
株券の発行者　長崎市出来大工町四十三番地長崎電氣軌道株式会社取締役脇山勘助
株券発行年月日　昭和十一年五月五日
株主名義人　雨森二郎

東京都足立区千住四丁目五十五番地　抑田迎賢次方　申立人　高橋釜三郎

別紙目録表示の証書につき申立人の申立により公示催告をなしたるところ昭和二十二年四月十日午前十時の期日迄に権利を届出てかつ右証書を提出するものがないから申立人の申立に基き前記証書の無効であることを宣言する。

昭和二十二年四月十日　札幌区裁判所

(別紙)　目録
一、北海道配電株式会社発行株式一株券五枚
記号番号　自甲第一二一八三号至甲第一二一八七号
額面　金五十円也(全額払込済)
二、同会社発行株式十株券十二枚
記号番号　自乙第八八四七号至乙第八八五八号
額面　金五百円也
一株ノ金額　金五十円也(全額払込済)
三、同会社発行株式五十株券三枚
記号番号　自丙第二七六七号至丙第二七六九号
額面　金二千五百円也
一株ノ金額　金五十円也(全額払込済)
以上各株式ノ
発行日　昭和十七年七月一日
発行者　北海道配電株式会社社長　原夬夫
最終株主名義人　高橋釜三郎
最後ノ所持人　高橋釜三郎

豊橋市牛川薬師町十六番地　申立人　山西撰

別紙目録表示の証書につき申立人の申立により公示催告をなしたるところ昭和二十二年四月十日午前十時の期日迄に権利を届出てかつ右証書を提出するものがないから申立人の申立に基き前記証書の無効であることを宣言する。

昭和二十二年四月十日　札幌区裁判所

(別紙)　目録
一東京瓦斯株式会社新株式五十株券一枚
額面　金二千五百円
払込金額　一株ニ付金二十五円
記号番号　波丙七三九二
発行者　東京都麹町区丸ノ内一丁目六番地東京瓦斯株式会社取締役社長井坂孝
発行年月日　昭和八年四月二十日
株主名並最後の所持人　山西撰

天塩郡豊富村字西豊富　申立人　寺澤義豊

別紙目録表示の証券につき申立人の申立により公示催告をなしたるところ昭和二十二年四月十日午前十時の期日迄に権利を届出でかつ右証書を提出するものがないから申立人の申立に基き前記証書の無効であることを宣言する。

昭和二十二年四月十日　札幌区裁判所

(別紙)　証券ノ表示
北海道地方木材株式会社株券十株券一枚
一記号番号　普通株ゆ甲〇二六〇号
一額面　金五百円也
一一株ノ金額　金五十円也(全額払込)
一発行年月日　昭和十八年五月三十一日
一発行人　北海道地方木材株式会社
一株主名義人　寺澤義豊
一最終ノ所持人　同人

東京都北多摩郡昭和町中神一〇四四番地　申立人　河合大藏

別紙目録表示の証書につき申立人の申立により公示催告をなしたるところ昭和二十二年四月十日午前十時の期日迄に権利を届出でかつ右証書を提出するものがないから申立人の申立に基き前記証書の無効であることを宣言する。

昭和二十二年四月十日　札幌区裁判所

(別紙)　目録
一発行者　北海道配電株式会社
一証書ノ種類　株券
一記号番号　甲自第九二五九号至第九二六三号
一額面　金五十円一株券五枚
一一株ニ付払込金額　金五十円
一記号番号　乙自第五三五二号至第五三五六号
一額面金　五百円十株券五枚
一一株ノ金額　金五十円
一一株ニ付払込金額　金五十円
一最終ノ各名義人　河合大藏

茨城縣水戸市北三軒町二十六番地　申立人　福田勝

別紙目録表示の証券につき申立人の申立により公示催告をしたところ昭和二十二年四月十日午前十時の期日迄に権利を届出で、かつ右証書を提出する

第6172号 物価号外

昭和二十二年五月十四日　千葉簡易裁判所

（別紙）株券ノ表示

一株式会社千葉銀行第五新株式五十株券一枚
記号番号乙ろ第六三号、額面二千五百円、払込金額　金千二百五十円
発行日　昭和十八年三月三十一日
最終株主名義人　瀧谷今助
一前同会社五新株式十株券二枚
記号番号　丙ろ第五六五号及同五六六号　額面　五百円
払込金額　一株ニ付金二百五十円
発行日　昭和十八年三月三十一日
最終株主名義人　瀧谷今助
一前同会社第五新株式五株券一枚
記号番号　丁ろ第二四五号　額面　金二百五十円
払込金額　一株ニ付金百二十五円
発行日　昭和十八年三月三十一日
最終株主名義人　瀧谷今助
一前同会社第五新株式一株券三枚
記号番号　戊ろ第六七三号至同六七五号
額面　金五十円　払込金額　一株ニ付金二十五円
発行日　昭和十八年三月三十一日
最終株主名義人　瀧谷今助

千葉県幕張町馬加八百十番地　申立人　日比野専一
右代理人弁護士　本間誠治

末尾表示の株券について前記申立代理人より公示催告の申立をなした処昭和二十二年二月十九日午前十時の公示催告期日迄に権利を届出で且株券を提出する者がないから申立代理人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年四月七日　高崎区裁判所　判事　波多野行蔵

目録
一株券の種類　記名株券十株券三枚
一株券の記号番号　い乙第四九六号乃至い乙第四九八号
一額面金額　金千五百円也
一払込金額　全額払込済
一株券発行者　株名産業株式会社取締役社長根岸芳男
一発行年月日　昭和十九年九月二日
一株主住所氏名　千葉県幕張町馬加八百十番地日比野専一
一最終株主住所氏名　右に同じ

群馬県群馬郡金古町大字金古四百十四番地　申立人　羽鳥長治郎
右代理人弁護士　本間誠治

末尾表示の株券について前記申立代理人より公示催告の申立をなしたところ昭和二十二年二月十九日午前十時の公示催告期日迄に権利を届出で且株券を提出する者がないから申立代理人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年四月七日　高崎区裁判所　判事　波多野行蔵

目録
一株券の種類　記名株券十株券一枚
一株券の記号番号　甲第二九八号
一額面金額　金二百円也
一払込金額　全額払込済
一株券発行者　高崎製氷冷蔵株式会社
取締役社長　臼田柳吉
一発行年月日　昭和二年三月一日
一最初株主住所氏名　群馬県群馬郡金古町大字金古四百十四番地　羽鳥儀右エ門
一最終株主住所氏名　群馬県群馬郡金古町大字金古四百十四番地　羽鳥長治郎

高崎市鞘町二十一番地　申立人　吉村米吉
右代理人弁護士　本間誠治

末尾表示の株券について前記申立代理人より公示催告の申立をなしたところ昭和二十二年二月十九日午前十時の公示催告期日迄に権利を届出で且つ株券を提出する者がないから申立代理人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年四月七日　高崎区裁判所　判事　波多野行蔵

目録
一株券の種類　記名株券五株券一枚
一株券の記号番号　乙第三号
一額面金額　金一百円也
一払込金額　全額払込済
一株券発行者　高崎製氷冷蔵株式会社
取締役社長　臼田柳吉
一発行年月日　昭和二年三月一日
一株主住所氏名　高崎市鞘町二十一番地吉村米吉
一最終名義人　右同人

群馬県群馬郡瀧川町千八百三十一番地　申立人　土屋健助
右代理人弁護士　本間誠治

末尾表示の株券について前記申立代理人より公示催告の申立をなした処昭和二十二年二月十九日午前十時の公示催告期日迄に権利を届出で且つ株券を提出する者がないから申立代理人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年四月七日　高崎区裁判所　判事　波多野行蔵

目録
一株券の種類　記名株券十株券二枚
一株券の記号番号　甲第一一八号、甲第一一九号
一額面金額　金四百円也
一払込金額　全額払込済
一株券発行者　高崎製氷冷蔵株式会社
取締役社長　臼田柳吉
一発行年月日　昭和二年三月一日
一最初株主住所氏名　群馬県群馬郡瀧川町千八百三十一番地　土屋健助
一最終名義人　右同人

長野市大字鶴賀田町二千百十番地　申立人　土井金作

別紙表示の株券に対して前記申立人から公示催告の申立を為したところ昭和二十一年十一月三十日午前十時の公示催告期日迄に権利を届出で右株券を提出する者がないから申立人の申立に基いて前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年一月二十七日　長野区裁判所　判事　山家卓

（別紙）
一長野電鉄株式会社株式十株券一枚
株券番号　丙第三七五八号
額面　五百円　払込金額　四百五十円
株式の名義人　長野市大字鶴賀田町土井金作
株券発行者　長野市権堂町二千三百一番地　長野電鉄株式会社

京都市上京区衣棚通椹木町上ル門跡町二百八十七　申立人　竹村源之助
代理人弁護士　入江俊二

別紙表示の証券に付申立人の申立によつて公示催告をしたところ昭和二十二年五月十四日午前九時迄に権利の届出をし且其の証券を提出するものがないので当裁判所は申立に基いて前記証券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月十四日　京都区裁判所

（別紙）物件目録
株式会社島津製作所旧株式五十株券一枚
一株券額面　金二千五百円也
一一株ノ払込金額　五十円也
一記号番号　丑は五五五号
一最終株主　竹村源之助

天田郡下六人部村　申立人　下六人部村
右代表者　松本庄吉

別紙記載の株券に付申立人の申立に依り公示催告を為したる処昭和二十二年五月二日午前九時の期日迄に権利を届出で且其の株券を提出する者なきを以て申立人の申立に基き前記株券の無効を宣言する。

昭和二十二年五月二日　福知山区裁判所　判事　永井米蔵

（別紙）目録
株式会社日本勧業銀行株券
額面　金一万五千円也合計十八枚
内訳
一額面　二千五百円十株券五枚
一一株ノ金額　五十円全額払込済
一株券記号番号　甲波一六五二五至七、
六二五八、乙波百一六五五二至一六一
五五四三枚
一株券発行者　株式会社日本勧業銀行
一株式名義人　岡田典重
一額面　金千五百円十株券十枚
一一株ノ金額　五十円全額払込済
一株券記号番号　四七〇五号、中波百一六四九五九至一一
六九六三枚
一株券発行者　株式会社日本勧業銀行
一株式名義人　高橋優
一額面　金七千五百円五十株券三枚
一一株ノ金額　五十円全額払込済
一株券記号番号　中ュ一九四九、一六
八一、中小九六九
一株券発行者　株式会社日本勧業銀行
一株式名義人　安井彌人

福岡県遠賀郡岡垣村東海老津東町
隣組　申立人　麗渡助次郎
右申立人代理人弁護士　河野完

右申立人ヨリ別紙表示ノ株券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨッテ当裁判所ハ昭和二十一年十二月四日公示催告ヲ為シタルニ昭和二十二年三月十三日午前十時ノ公示催告期日迄ニ権利ノ届出及右株券ノ提出ヲ為スモノ無キヲ以テ右株券ノ無効ヲ宣言ス

昭和二十二年五月八日　神戸区裁判所

（別紙）株券ノ目録
一川崎重工業株式会社株券
い内第〇〇三一〇〇四二号（五十株）一枚
い内第〇〇三一〇〇四三号（五十株）一枚
株主　催告人
発行会社名　川崎重工業株式会社
資本総額　金六億円也
一株ノ金額　金五十円也

東京都港区芝高輪南町五十二番地　申立人　富田興業株式会社
右代表取締役　富田正義

右申立人ヨリ別紙表示ノ株券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨッテ当裁判所ハ昭和二十一年七月四日公示催告ヲ為シタルニ昭和二十二年五月八日午前十時ノ公示催告期日迄ニ権利ノ届出及右株券ノ提出ヲ為スモノナキヲ以テ右株券ノ無効ヲ宣言ス

昭和二十二年五月八日　神戸地方裁判所

（別紙）目録
一川崎重工業株式会社株式五十株券四枚
額面　金二千五百円
一株ニ付金五十円也払込済
記号番号　新内第〇一二六九号、
第〇一六〇七六号、〃第〇一四六五〇〃
号、内第〇五五二七号
最終株主名義人　富田興業株式会社

神戸市長田区腕塚町七丁目九七
内藤方前田武雄家督相続人
申立人　前田愛治
右代理人親権者　前田[illegible]

右申立人ヨリ別紙表示ノ株券ニ付公示催告ノ申立ヲ為シタルニヨッテ当裁判所ハ昭和二十一年七月四日公示催告ヲ為シタルニ昭和二十二年五月八日午前十時ノ公示催告期日迄ニ権利ノ届出及右株券ノ提出ヲ為スモノナキヲ以テ右株券ノ無効ヲ宣言ス

昭和二十二年五月九日　神戸地方裁判所

（別紙）目録
一川崎重工業株式会社新株式五十株券一枚
記号番号　い内第一〇〇九二一号
一株ノ金額　金五十円也但二十五円払込済
株式名義人　前田武雄
株券発行者　川崎重工業株式会社

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

第6172号　物価号外